

福島県
— 震災を踏まえた子育て環境に関する調査研究 —
報告書

Ⅱ. 県民アンケート調査

II. 県民アンケート調査

2-1 調査概要

県民の子育て環境や子どもを取り巻く環境の現状や要望について把握することを目的として、アンケート調査を実施した。福島県に住民票をおく方々から無作為に選んで居住地宛に郵送し、回答は県担当部局へ返送していただいた。

- 1 調査対象 福島県に住民票をおく方のうち、下記の3区分で抽出した。
①18歳未満の子どもがいない、20～70歳未満の人
②就学前児童を持つ世帯の保護者
③小学校児童を持つ世帯の保護者
- 2 標本数 ①1,800人 ②1,800人 ③1,800人 合計5,400人
- 3 抽出方法 人口按分により全市町村に標本数を按分し、市町村ごとに抽出
p. 1-3 参照
- 4 調査時期 平成25年11月～12月に配付、11月～1月に回収
- 5 調査方法 郵送法
- 6 調査項目 東日本大震災からの生活の回復、安心して次世代を生き育てられる環境づくり、子育て支援、子育てを支える社会環境づくり、子どもにやさしい環境づくりなど p. 1-4 参照
- 7 回収数、回収率 回収数：1,805人、回収率：1,805/5,400=33.4%

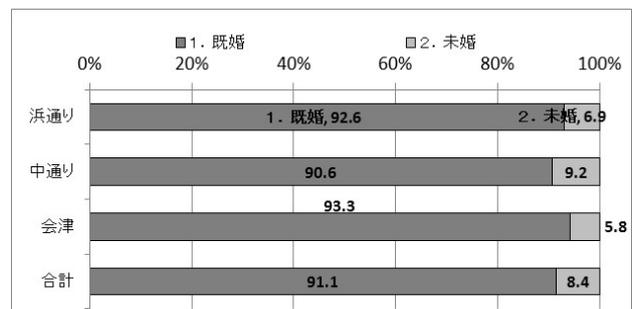
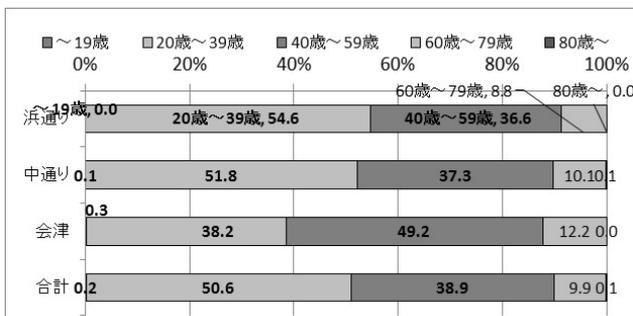
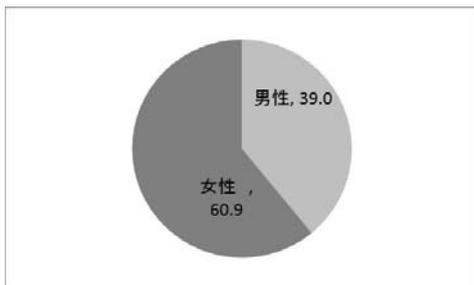
2-2 調査結果

すべての方にお聞きします。【問1～問21】

問1 あなたの性別をお答えください。あてはまる番号の1つに○をつけてください。

問2 あなたの年齢をお答えください。満年齢でお答えください。

問3 あなたは、結婚していますか。あてはまる番号の1つに○をつけてください。



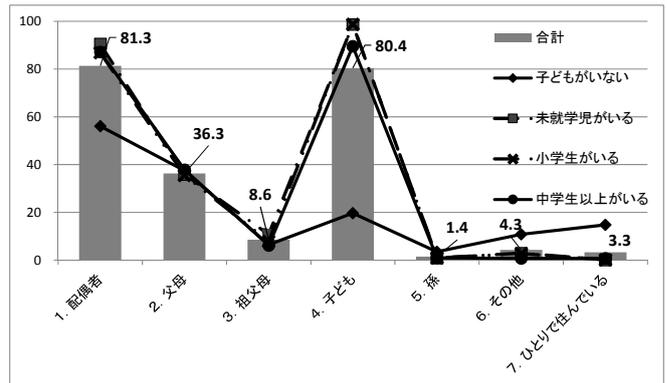
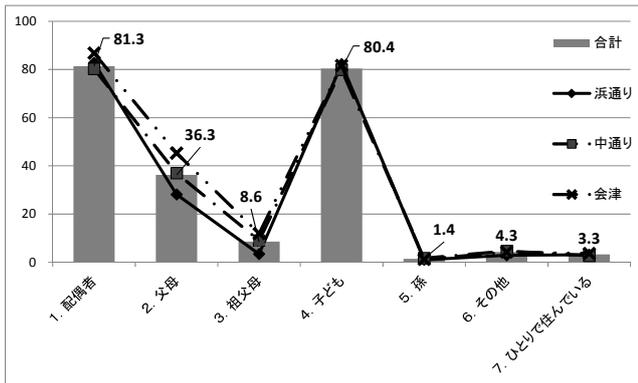
回答者は、約6割（60.9%）が女性で、約4割（39.0%）が男性。

回答者の5割（50.6%）が20～39歳、4割（38.9%）が40～59歳、1割（9.9%）が60歳以上。

回答者の9割以上（91.1%）が既婚者。

問4 あなたと同居している方は、どのような方々ですか。

あてはまる番号のすべてに○をつけてください。

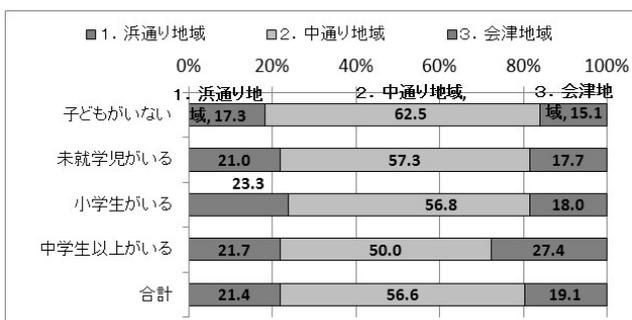


回答者の内の父母（配偶者の父母を含む）と同居が 1/3（36.3%）、祖父母（配偶者の祖父母を含む）と同居が 1 割弱（8.6%）、孫と同居は 1.4%、一人住まいは 3.3%。

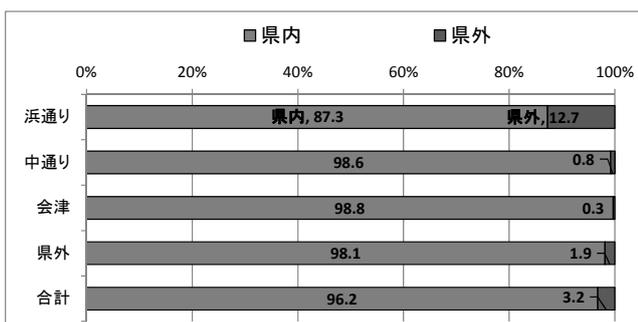
同居者パターン	%
独居	3.3%
本人+配偶者	7.1%
本人(+配偶者)+その他	0.9%
本人(+配偶者)+孫(+その他)	0.2%
本人(+配偶者)+父母(+その他)	6.5%
本人(+配偶者)+父母+孫(+その他)	0.1%
本人(+配偶者)+祖父母(+その他)	0.4%
本人(+配偶者)+父母+祖父母(+その他)	1.1%
本人+子	5.0%
夫婦+子	44.3%
本人(+配偶者)+その他+子	0.3%
本人(+配偶者)+子+孫(+その他)	0.8%
本人(+配偶者)+父母+子(+その他)	22.4%
本人(+配偶者)+父母+子+孫(+その他)	0.3%
本人(+配偶者)+祖父母+子(+その他)	1.2%
本人(+配偶者)+父母+祖父母+子(+その他)	5.8%
本人(+配偶者)+父母+祖父母+子+孫(+その他)	0.1%
無回答	0.3%
合計	100.0%

問5 あなたが、震災前にお住まいだったところは、以下のどちらですか。

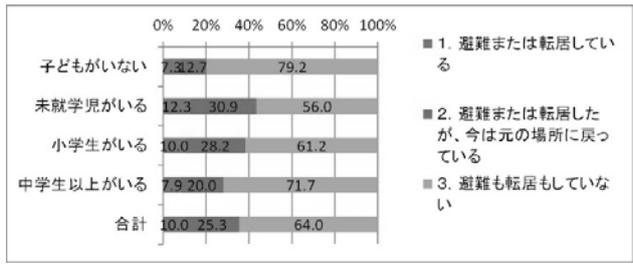
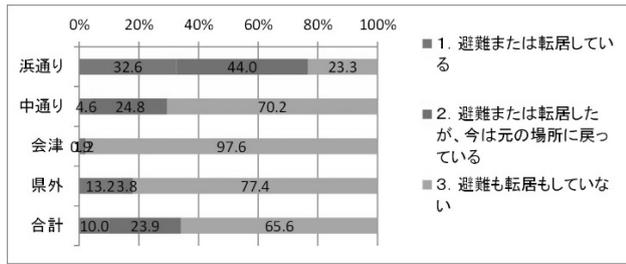
あてはまる番号の1つに○をつけてください。



問6 あなたが、現在お住まいの市町村をお答えください。



問7 あなたは、震災や原発事故により、避難または転居しましたか。



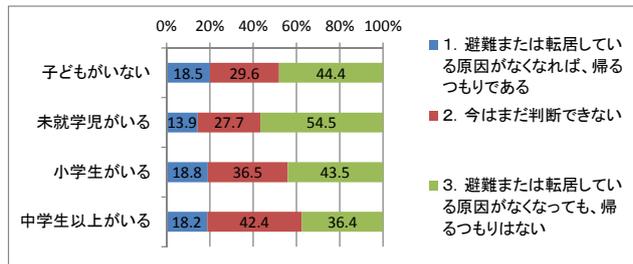
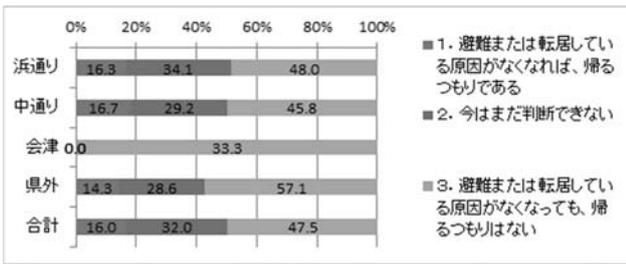
子どもがいる方、子どもの年齢が低い方がより多く避難している。

回答者の33.9%が避難・転居し、現在も避難・転居している方は、10.0%である。

浜通りが避難・転居は最も多く、76.6%が避難・転居した方で、現在も避難・転居している方は、32.6%。

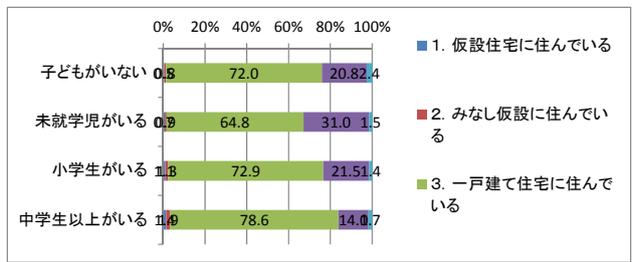
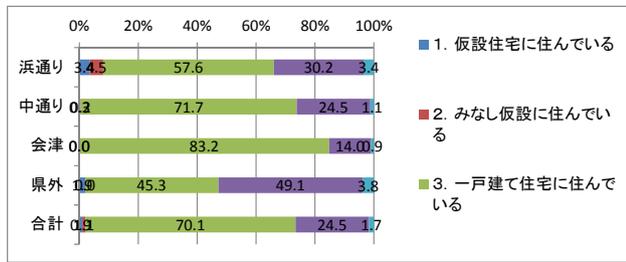
中通り、会津で、現在も避難・転居している方は、それぞれ4.6%、0.9%。

問8 現在、避難または転居している方（問7で「1」と答えた方）に、お聞きします。



現在も避難・転居している方の半数近く（47.5%）は、「原因がなくなっても帰るつもりはない」、3割程度（32.0%）は、「まだ判断できない」と回答。子どもが低年齢であるほど「原因がなくなっても帰るつもりはない」という割合は高い。

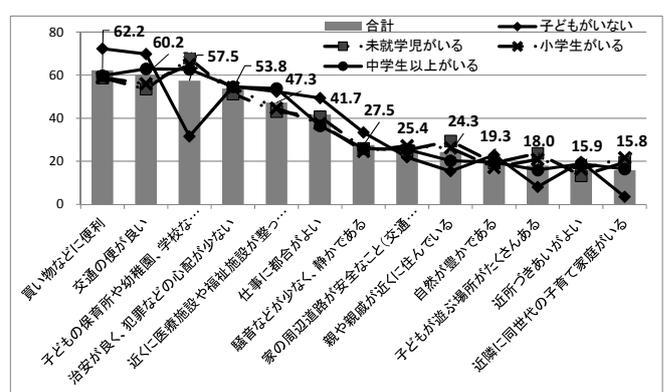
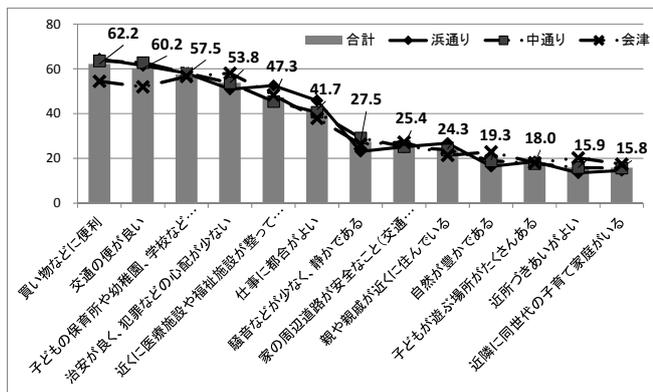
問9 あなたがお住まいになっている住居は次のいずれですか。



仮設住宅・みなし仮設に住んでいる方は、浜通りで7.9%、中通りで0.5%、会津では0%。

問10 あなたが、住まい（居住地）を選ぶ場合に、重要だと思うのは、どのような点ですか。

あなたが特に重要だと思うものを、5つまで選んで○をつけてください。



【居住環境で重視されるのは、買い物や交通の便】（問10）

買い物に便利（62.2%）、交通の便（60.2%）が、1位、2位。

教育施設（57.5%）、治安（53.8%）、医療・福祉施設（47.3%）が、3位、4位、5位。

仕事の都合（41.7%）が、6位。

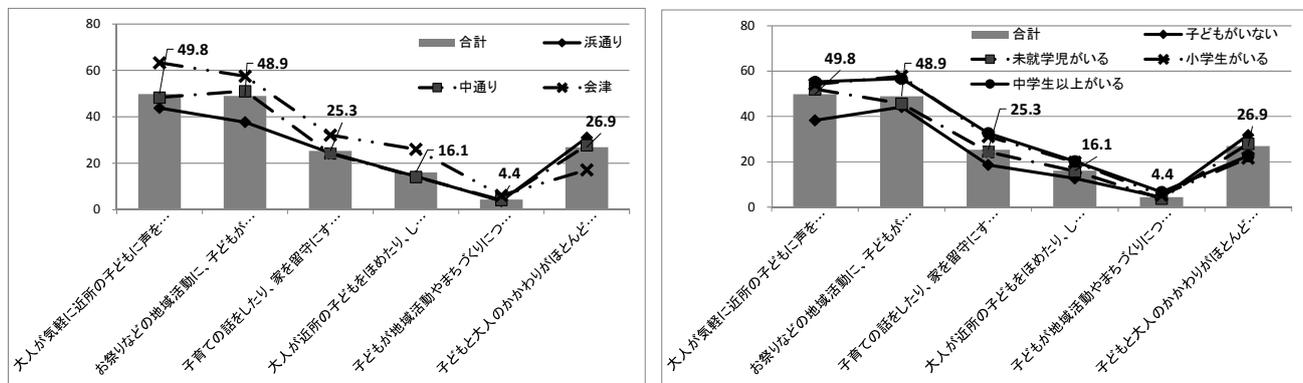
子どもが遊ぶ場所（18.0%）、近所づきあい（15.9%）、近隣に子育て家庭（15.8%）などは、最下位。

順位	選択肢	%
1	買い物などに便利	62.2
3	交通の便が良い	60.2
2	子どもの保育所や幼稚園、学校など教育施設が近くにある	57.5
4	治安が良く、犯罪などの心配が少ない	53.8
5	近くに医療施設や福祉施設が整っている	47.3
6	仕事に都合がよい	41.7
7	騒音などが少なく、静かである	27.5
8	家の周辺道路が安全なこと(交通量、歩道、段差などの点で)	25.4
9	親や親戚が近くに住んでいる	24.3
10	自然が豊かである	19.3
11	子どもが遊ぶ場所がたくさんある	18.0
13	近所づきあいがよい	15.9
12	近隣に同世代の子育て家庭がいる	15.8

子どもがいない方は、教育施設には極端に関心がなく、買い物や交通の便が最も重視されている。教育施設、親や親戚の近在、遊ぶ場所などは、子どもの年齢が低いほど重視する傾向。

問11 あなたが現在居住する地域では、子どもと大人のかかわりはどれくらいありますか。

以下の項目で、あてはまると 思う番号のすべてに○をつけてください。



順位	選択肢	%
1	大人が気軽に近所の子どもに声をかける	49.8
2	お祭りなどの地域活動に、子どもが積極的に参加している。	48.9
3	子育ての話をしたり、家を留守にするときに声をかけたりできる人が近隣にいる。	25.3
4	大人が近所の子どもをほめたり、しかったり、何か教えたりする。	16.1
5	子どもが地域活動やまちづくりについて意見を言う機会を与えられている	4.4
-	子どもと大人のかかわりがほとんどないと思う	26.9

【地域での子どもと大人のかかわりは「子どもに声をかける」「お祭りなどに参加」が5割】（問11）

約半数の方が「大人が気軽に近所の子どもに声をかける」（49.8%）または「お祭りなどの地域活動に、子どもが積極的に参加」（48.9%）と回答。

「子育ての話をしたり、家を留守にするときに声をかけたりできる人が近隣にいる」は 29.3%、「大人が近所の子どもをほめたり、しかったり、何か教えたりする」は 16.1%、「子どもが地域活動やまちづくりについて意見を言う機会を与えられている」は 4.4%。

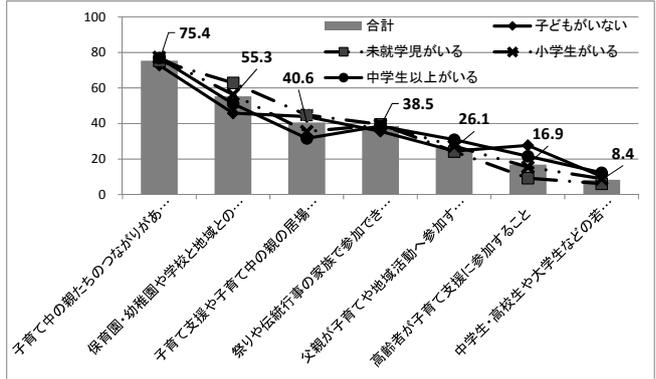
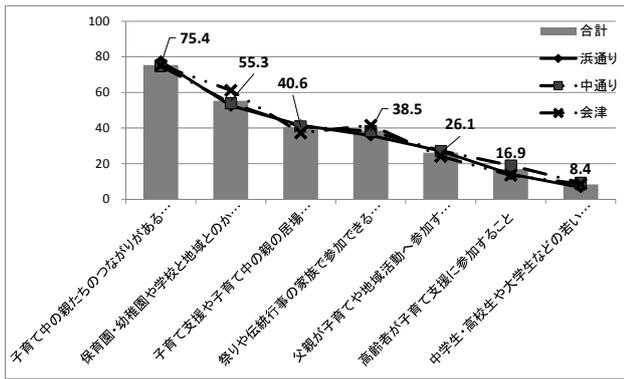
「子どもと大人のかかわりがほとんどないと思う」は 26.9%。

子どもと大人のかかわりがより多いのは、会津、中通り、浜通りの順。

子どものいない人のほうが、子どもと大人のかかわり少ないと回答。

問12 地域での活動などで、子育てにとって重要だと思うことは以下のどれですか。

あなたが特に重要だと思うことを、3つまで選んで○をつけてください。



順位	選択肢	%
1	子育て中の親たちのつながりがあること	75.4
2	保育園・幼稚園や学校と地域とのかかわりがあること	55.3
3	子育て支援や子育て中の親の居場所となる拠点をつくること	40.6
4	祭りや伝統行事の家族で参加できること	38.5
5	父親が子育てや地域活動へ参加すること	26.1
6	高齢者が子育て支援に参加すること	16.9
7	中学生・高校生や大学生などの若い人々による子育て支援活動	8.4

【地域活動で子育てに重要なのは「子育て中の親のつながり」「教育施設と地域の連携】(問12)

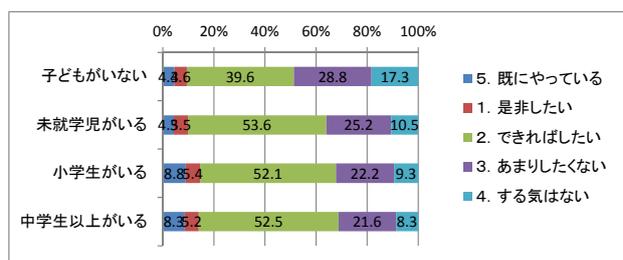
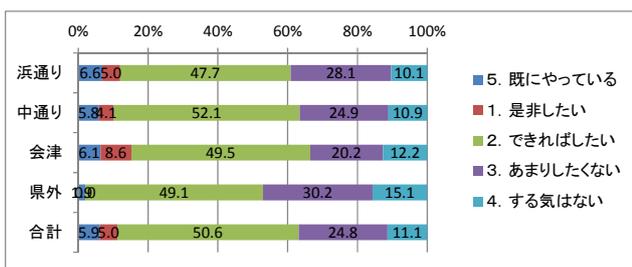
「地域での活動で子育てにとって重要だと思うこと」は、「子育て中の親のつながり」が75.4%、「教育施設と地域の連携」55.3%で、1位と2位。

子育て支援拠点(40.6%)、地域行事(38.5%)が4割程度で、3位、4位。

「父親」(26.1%)、「高齢者」(16.9%)、「中高生・大学生」(8.4%)などの「子育て支援活動」は、あまり重要と考えていない傾向。

子どものいない方の回答ポイントでは、子どものいる方と比較して「教育施設と地域の連携」は低く、「高齢者の子育て支援活動」は高い傾向。

問13 あなたは、子育て支援の活動(登下校の見守り、ファミサポ会員、学校ボランティアなど)をしたいと思いますか。あてはまる番号の1つに○をつけてください。



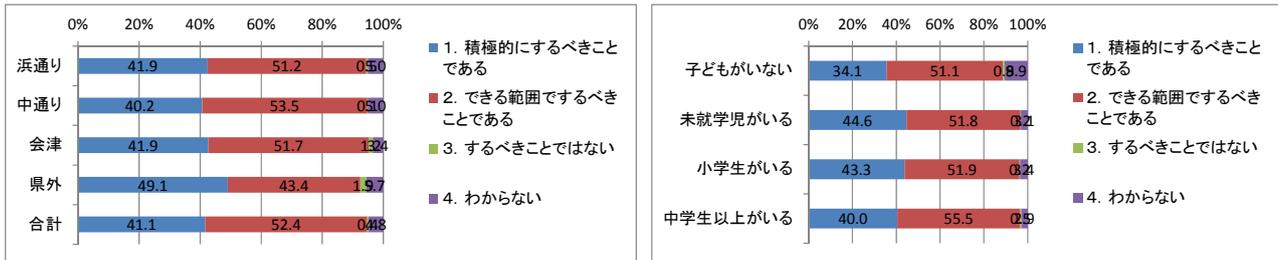
【できれば子育て支援活動をしたい人は5割、きっかけが必要】(問13)

子育て支援活動をすでにしている方は5.9%、「是非したい」5.0%はいずれも少数派。

「できればしたい」50.6%が半数。子育て支援活動を始めるきっかけを与える必要がある。

「あまりしたくない」24.8%、「する気はない」11.1%。子どもがいないの方が「する気」は少ない。

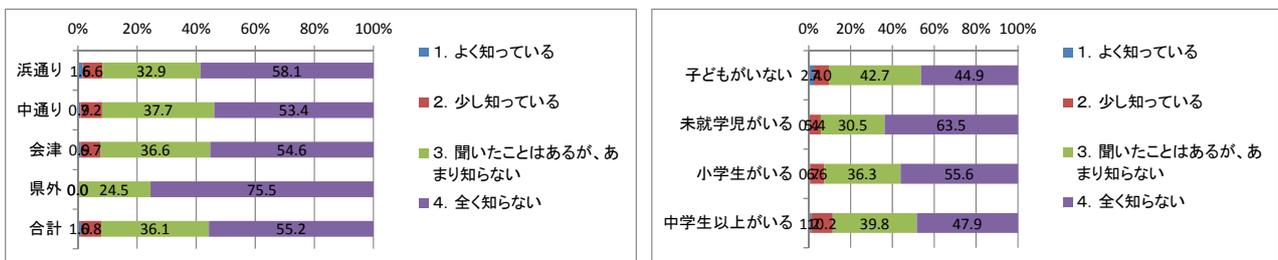
問14 あなたは、子どもたちが自分の思ったことを、大人や社会に対して表現し、提案をすることについてどう思いますか？ あてはまる番号の1つに○をつけてください。



【「子どもの意見表明を積極的にすべき」は4割】（問14）

子どもが大人や社会に対して意見を表明することを「積極的にすべき」と答えた方は、41.1%、「できる範囲ですべき」と答えた方は、52.4%。子どもがいない方のほうがポイントは低い。

問15 福島県では、県民が安心して子どもを生み、育てることができる社会の実現に寄与するため「子育てしやすい福島県づくり条例」（平成22年12月公布・施行）を制定しています。あなたは、この条例についてご存知ですか。あてはまる番号の1つに○をつけてください。

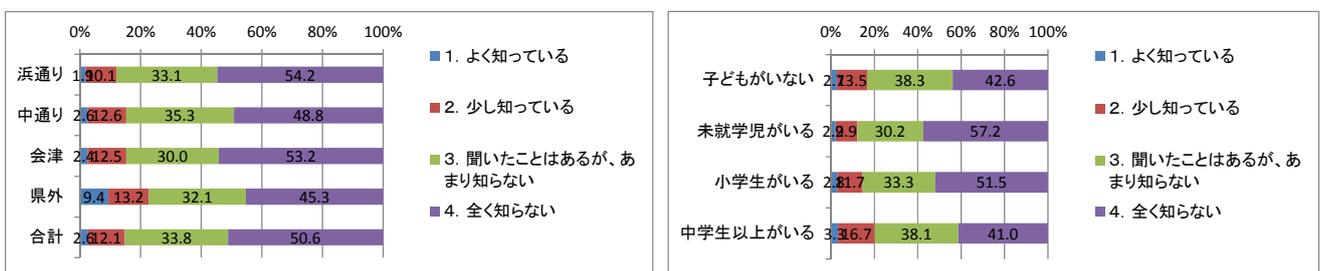


【「子育てしやすい福島県づくり条例」をほとんどの県民が知らない】（問15）

「子育てしやすい福島県づくり条例」を「全く知らない」方が55.2%で過半数。「よく知っている」は1.0%、「少し知っている」は6.8%。内容を知らない人がほとんど（91.3%）。子どもがいる方、低年齢の子どもがいる方が、かえって知らない傾向である。

問16 日本は、国連の「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」を批准しています。

あなたは、この条約についてご存知ですか。あてはまる番号の1つに○をつけてください。

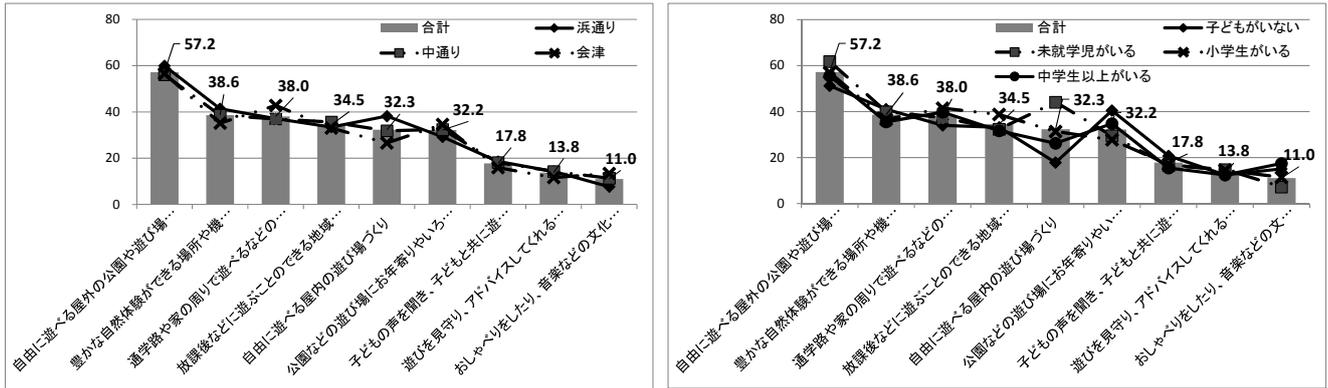


【「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」をほとんどの県民が知らない】（問16）

「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」を「全く知らない」方が50.6%で約半数。「よく知っている」は2.6%、「少し知っている」は12.1%。内容を知らない人がほとんど（84.4%）。低年齢の子どもがいる方が、知らない傾向である。

問17 あなたは 子どものための遊び環境づくりとしてどのようなことが重要だと思いますか。

あなたが特に重要だと思うものを、3つまで選んで○をつけてください。



順位	選択肢	%
1	自由に遊べる屋外の公園や遊び場づくり	57.2
2	豊かな自然体験ができる場所や機会づくり	38.6
3	通学路や家の周りで遊べるなどの安全な近隣環境づくり	38.0
4	放課後などに遊ぶことのできる地域の児童施設づくり	34.5
5	自由に遊べる屋内の遊び場づくり	32.3
6	公園などの遊び場にお年寄りやいろいろな人が集まるための施設・設備	32.2
7	子どもの声を聞き、子どもと共に遊び環境をつくるしくみづくり	17.8
8	遊びを見守り、アドバイスしてくれる遊びの指導員(プレイリーダーなど)の配置	13.8
9	おしゃべりをしたり、音楽などの文化活動ができる中高校生の居場所づくり	11.0

【遊び環境として重要なのは、「屋外遊び場」がトップだが、「自然体験」や「通学路など」も】(問17)

「屋外遊び場」は6割(57.2%)の方があげており、第1位。

「自然体験の場や機会」(38.6%)と「通学路や家の周りの安全な環境」(38.0%)は、4割程度の方があげており、2位、3位。

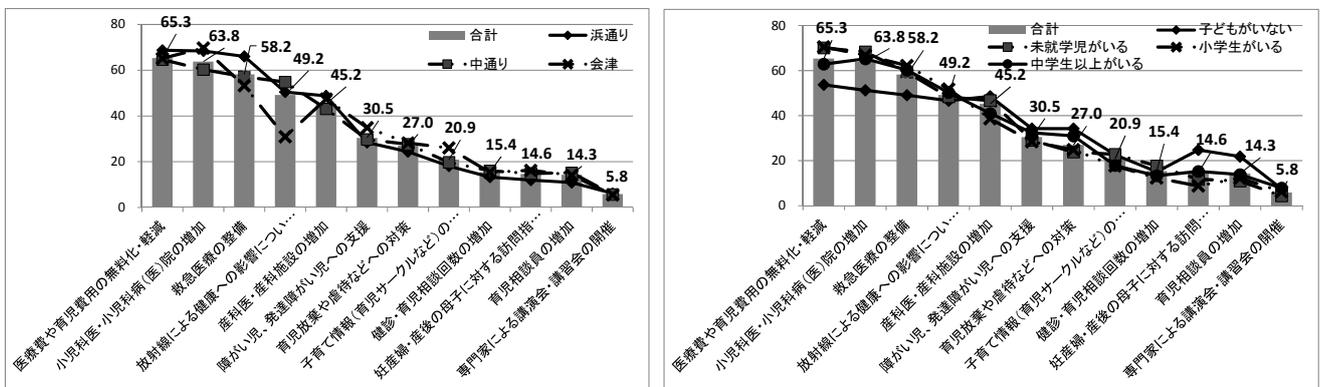
「地域の児童館」(34.5%)、「屋内遊び場」(32.3%)、「公園の集客施設」(32.2%)は、3割程度の方があげており、4位、5位、6位。

「屋内遊び場」は、会津、中通り、浜通りの順にポイントが上がっており、子どもがいる方、子どもの年齢が低い方がより多くあげている。

「公園の集客施設」は、子どものいない方、子どもの年齢が高い方がより多くあげている。

問18 子どもに関わる医療、保健、福祉などの施策について、どのようなものが重要だと思いますか。

あなたが重要だと思うものを、5つまで選んで○をつけてください。



順位	選択肢	%
1	医療費や育児費用の無料化・軽減	65.3
2	小児科医・小児科病(医)院の増加	63.8
3	救急医療の整備	58.2
4	放射線による健康への影響についての正確な情報・知識の普及	49.2
5	産科医・産科施設の増加	45.2
6	障がい児、発達障がい児への支援	30.5
7	育児放棄や虐待などへの対策	27.0
8	子育て情報(育児サークルなど)の迅速な提供	20.9
9	健診・育児相談回数の増加	15.4
10	妊産婦・産後の母子に対する訪問指導の充実	14.6
11	育児相談員の増加	14.3
12	専門家による講演会・講習会の開催	5.8

【医療、保健、福祉などの重要な施策は「費用軽減」「医院」「救急医療」など】(問18)

「医療費や育児費用の無料化・軽減」(65.3%)、「小児科医・病(医)院の増加」(63.8%)、「救急医療の整備」(58.2%)の要望が多く、1位、2位、3位。

「放射線による健康影響の情報・知識の普及」(49.2%)は4位であるが、会津(30.9%)では県合計より18.3ポイント低い。

「産科医・産科施設の増加」(45.2%)がこれに次いで、5位。

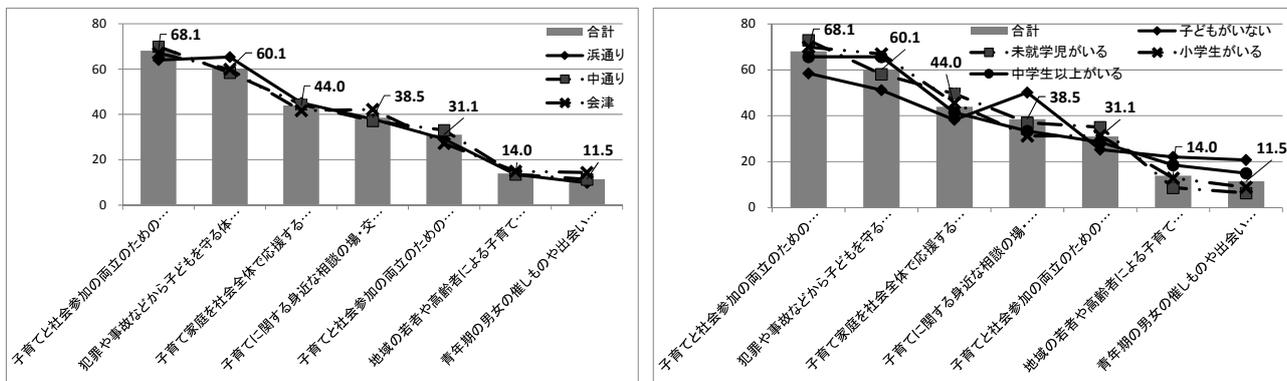
「障がい児、発達障がい児への支援」(30.5%)、「育児放棄や虐待などへの対策」(27.0%)、「子育て情報(育児サークルなど)の迅速な提供」(20.9%)が3~2割。

「健診・育児相談回数の増加」(15.4%)、「妊産婦・産後の母子に対する訪問指導の充実」(14.6%)、「育児相談員の増加」(14.3%)、「専門家による講演会・講習会の開催」(5.8%)などはポイントが低い。

子どもがいない方で、「産科医・産科施設の増加」「育児放棄や虐待などへの対策」「妊産婦・産後の母子に対する訪問指導の充実」「育児相談員の増加」などのポイントが高いのは、これから出産を考えている方の意見と考えられる。

問19 子育てを支える社会環境づくりには、どのようなことが重要だと思いますか。

あなたが特に重要だと思うものを、3つまで選んで○をつけてください。



順位	選択肢	%
1	子育てと社会参加の両立のための職場での環境づくり(育児休業や労働時間の短縮など)	68.1
2	犯罪や事故などから子どもを守る体制づくり	60.1
3	子育て家庭を社会全体で応援する雰囲気づくり・意識啓発	44.0
4	子育てに関する身近な相談の場・交流の機会の提供	38.5
5	子育てと社会参加の両立のための家庭での環境づくり(家事・育児の男女共同参画など)	31.1
6	地域の若者や高齢者による子育て支援の仕組みづくり	14.0
7	青年期の男女の催しものや出会いの場の提供	11.5

【社会環境で重要なのは「ワークライフバランス」と「安全」】(問19)

「子育てと社会参加の両立のための職場環境(育児休業や労働時間の短縮など)」(68.1%)が1位、「犯罪や事故などから子どもを守る体制」(60.1%)が2位で、いずれも6割を超える。

「犯罪や事故などから子どもを守る体制」は浜通りで5.12ポイント県全体より高い傾向。

「子育て家庭を社会全体で応援する雰囲気・意識啓発」(44.0%)が3位、「子育てに関する身近な相談の

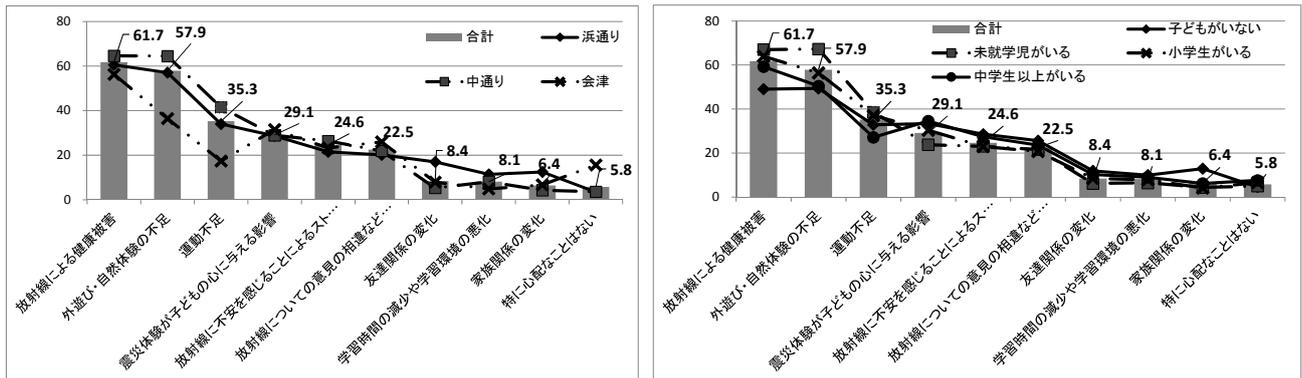
場・交流の機会」(38.5%)が4位、「子育てと社会参加の両立のための家庭環境(家事・育児の男女共同参画など)」(31.1%)が5位で、4~3割程度。

「地域の若者や高齢者による子育て支援の仕組み」(14.0%)や「青年期の男女の催しものや出会いの場」(11.5%)はポイントが低い。

子どもがいない方で、「子育てに関する身近な相談の場・交流の機会」のポイントが高いのは、これから出産を考えている方の意見、「地域の若者や高齢者による子育て支援の仕組み」と「青年期の男女の催しものや出会いの場」のポイントが高いのは、自分自身の参加をイメージした意見と考えられる。

問20 震災による子どもへの影響として、心配なことがありますか。

あなたが特に心配だと思われるものを、3つまで選んで○をつけてください。



順位	選択肢	%
1	放射線による健康被害	61.7
2	外遊び・自然体験の不足	57.9
3	運動不足	35.3
4	震災体験が子どもの心に与える影響	29.1
5	放射線に不安を感じることによるストレス	24.6
6	放射線についての意見の相違などによる人間関係への影響	22.5
7	友達関係の変化	8.4
8	学習時間の減少や学習環境の悪化	8.1
9	家族関係の変化	6.4
10	特に心配なことはない	5.8

【子どもへの影響で心配なのは「放射線による健康被害」と「外遊び・自然体験の不足」】(問20)

1位が「放射線による健康被害」、2位が「外遊び・自然体験の不足」(57.9%)で、いずれも6割程度。

3位以下は、「運動不足」(35.3%)、「震災体験が心に与える影響」(29.1%)、「放射線に不安によるストレス」(24.6%)、「意見の相違による人間関係への影響」(22.5%)の順で、3~2割程度。

会津のポイントを見ると、「放射線による健康被害」がそれほど低くないのに「外遊び・自然体験の不足」「運動不足」が低いのは、放射線による健康被害に比べて、実感が持てないためと考えられる。

友達関係の変化」(8.4%)と「学習時間の減少や学習環境の悪化」(8.1%)は、「家族関係の変化」(6.4%)、1割以下のポイント。

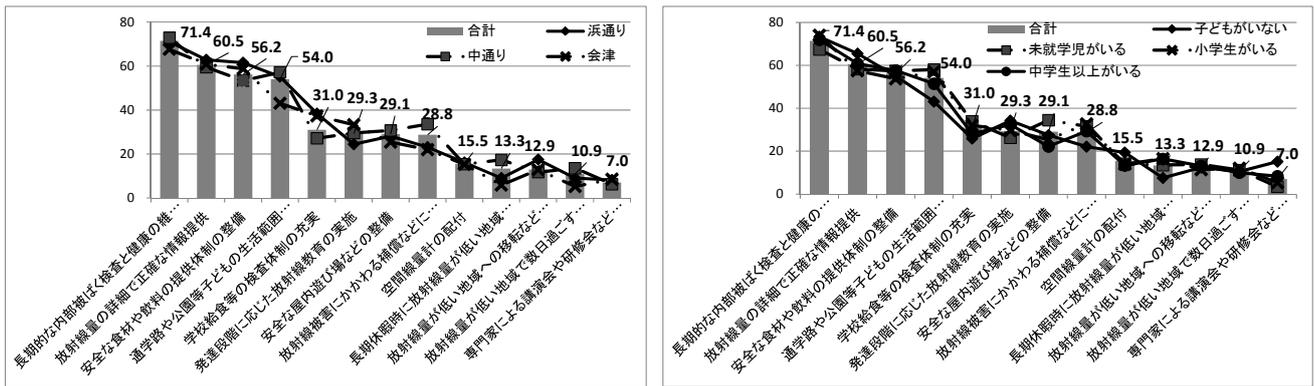
子どもがいない方は、「放射線による健康被害」「外遊び・自然体験の不足」「運動不足」のポイントが低く、「友達関係の変化」と「家族関係の変化」のポイントが高い。これも実感が持てないことによるものと想像される。

「家族関係の変化」のポイントが、子どもがいる方より高い。

「特に心配なことはない」は5.8%。

問 2 1 子どもの放射線への対応策のうちで、特に重要だと思うものは何ですか。

あなたが特に重要だと思うものを、5つまで選んで○をつけてください。



順位	選択肢	%
1	長期的な内部被ばく検査と健康の維持管理を担う体制づくり	71.4
2	放射線量の詳細で正確な情報提供	60.5
3	安全な食材や飲料の提供体制の整備	56.2
4	通学路や公園等子どもの生活範囲の徹底した除染	54.0
5	学校給食等の検査体制の充実	31.0
6	発達段階に応じた放射線教育の実施	29.3
7	安全な屋内遊び場などの整備	29.1
8	放射線被害にかかわる補償などについての情報提供	28.8
9	空間線量計の配付	15.5
10	長期休暇時に放射線量が低い地域で過ごす活動など	13.3
11	放射線量が低い地域への移転などに対する支援	12.9
12	放射線量が低い地域で数日過ごす校外学習など	10.9
13	専門家による講演会や研修会などの開催	7.0

【重要な放射線対策は「長期的検査健康管理」「正確な情報」「安全な食材」「生活範囲の除染】(問 2 1)

1位は「長期的な内部被ばく検査と健康の維持管理体制」(71.4%)、2位は「放射線量の詳細で正確な情報提供」(60.5%)、3位は「安全な食材や飲料の提供」(56.2%)、4位は「通学路や公園等子どもの生活範囲の除染」(54.0%)で、4位までが半数以上の方が重要な対応策としている。

これに次いで「学校給食等の検査体制」(31.0%)、「発達段階に応じた放射線教育」(29.3%)、「安全な屋内遊び場整備」(29.2%)、「放射線被害補償などの情報提供」(28.8%)は、3割程度の方があげている。

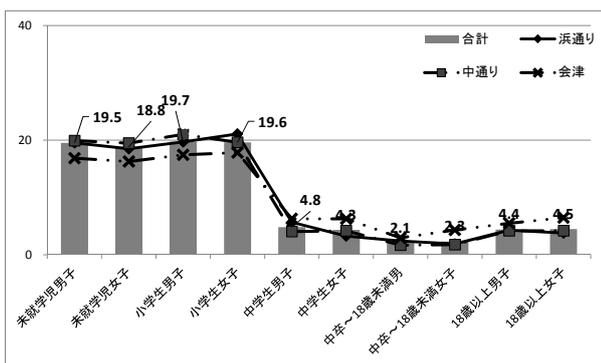
「空間線量計の配付」(15.5%)、「低放射線量地域での長期休暇時の活動」(13.3%)、「低放射線量地域への移転支援」(12.9%)、「低放射線量地域での校外学習」(10.9%)は1割程度、「専門家による講演会や研修会」(7.0%)は1割以下である。

浜通りで他の地域よりポイントが高いのは、「安全な食材や飲料の提供」「学校給食等の検査体制」「低放射線量地域への移転支援」である。

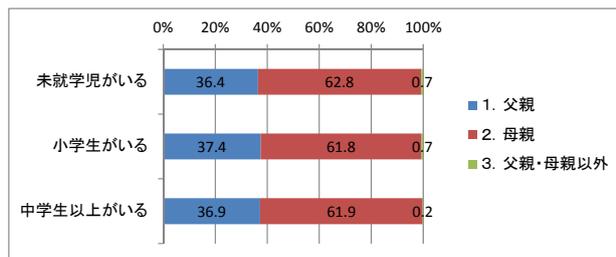
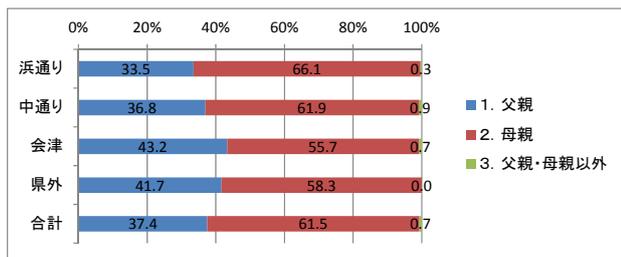
未就学児のいる方で他の方よりポイントが高いのは、「通学路や公園等子どもの生活範囲の除染」「安全な屋内遊び場整備」である。

お子さんのいらっしゃる方のみにお聞きします。【問 2 2 ~ 4 2】

問 2 2 あなたのお子さんの人数を、現在の年齢段階と性別ごとにお答えください。

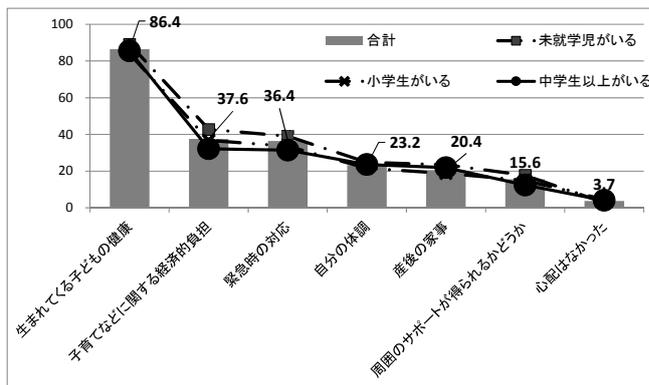
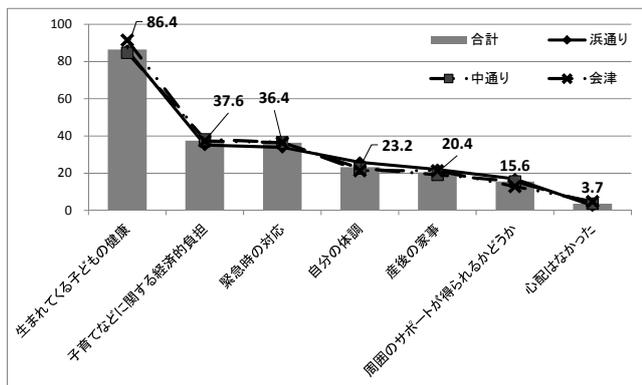


問 2 3 あなた（回答者）はお子さんから見た場合、下記のいずれに該当しますか。



問 2 4 お子さんの母親が、妊娠中や出産時にどのようなことが心配でしたか。

あなたが心配されたことに、いくつでも○をつけてください。



【妊娠・出産時の心配は「子どもの健康」】（問 2 4）

「生まれてくる子どもの健康」（86.4%）が 9 割近くの方があげている心配事項。

そのほかは「経済的負担」（37.6%）、「緊急時の対応」（36.4%）、「自分の体調」（23.2%）、「産後の家事」（20.4%）などに分散しており、4 割弱から 2 割程度。「周囲のサポート」（15.6%）は最も少ない。

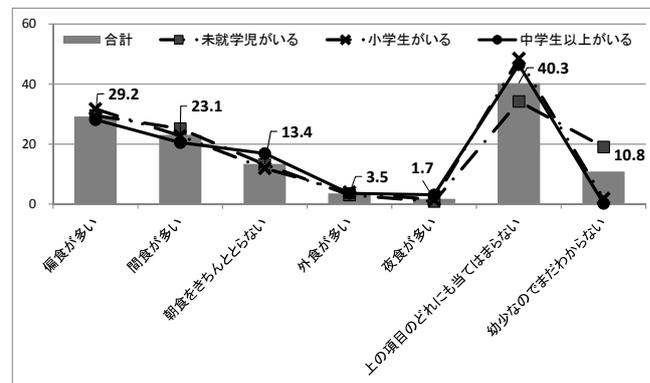
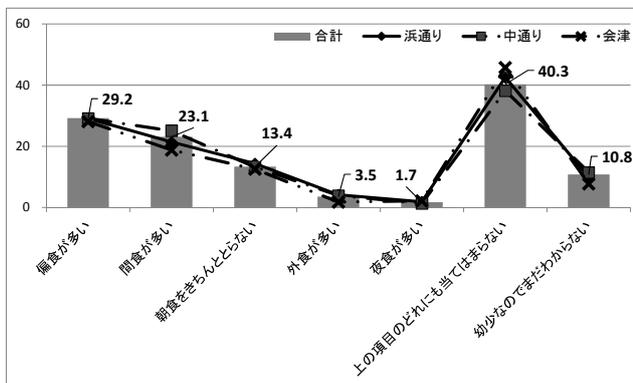
「心配はなかった」は 3.7% で、ほとんどの方が心配をした経験を持つ。

地域差、年代差はほとんどない。

順位	選択肢	%
1	生まれてくる子どもの健康	86.4
2	子育てなどに関する経済的負担	37.6
3	緊急時の対応	36.4
4	自分の体調	23.2
5	産後の家事	20.4
6	周囲のサポートが得られるかどうか	15.6
7	心配はなかった	3.7

問 2 5 お子さんの食生活で下記にあてはまるものがありますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。



【子どもの食生活に問題はないと考えている人が4割】(問25)

食生活に問題がないと考えている方、「どれにも当てはまらない」が40.3%。未就学児がいる方は合計より6.1ポイント低い。「幼少なのでわからない」は10.8%。

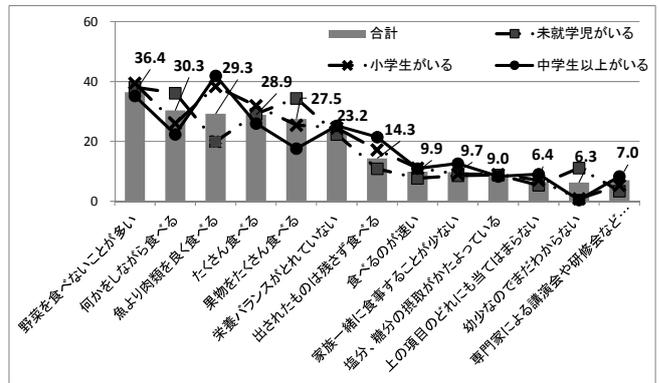
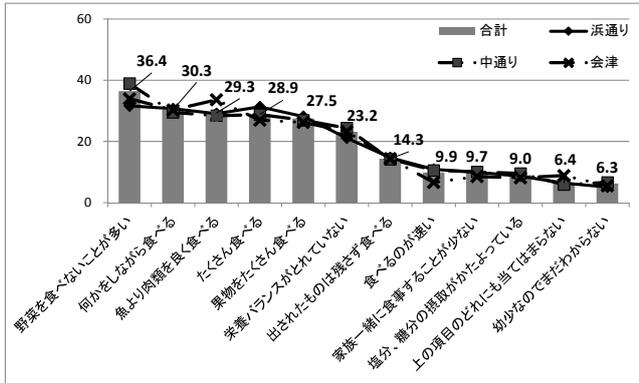
食生活での問題は、「偏食が多い」(29.2%)、「間食が多い」(23.1%)、「朝食をきちんととらない」(13.4%)、「外食が多い」(3.5%)、「夜食が多い」(1.7%)の順。

仲通りで「間食が多い」、未就学児で「間食が多い」、中学生以上で「朝食をきちんととらない」のポイントが他と比べて高い傾向。

順位	選択肢	%
1	偏食が多い	29.2
2	間食が多い	23.1
3	朝食をきちんととらない	13.4
4	外食が多い	3.5
5	夜食が多い	1.7
-	上の項目のどれにも当てはまらない	40.3
-	幼少なのでまだわからない	10.8

問26 お子さんの食事のしかたについて下記にあてはまるものがありますか。

あてはまるものすべてに○をつけてください。



【子どもの食事で気になることは偏食や「ながら食べる」】(問26)

上位は「野菜を食べないことが多い」(36.4%)、「何かをしながら食べる」(30.3%)、「魚より肉類を良く食べる」(29.3%)、「たくさん食べる」(28.9%)、「果物をたくさん食べる」(27.5%)など3割程度。

「栄養バランスがとれていない」(23.2%)、「出されたものは残さず食べる」(14.3%)が2~3割。

「食べるのが速い」(9.9%)、「家族一緒に食事することが少ない」(9.7%)、「塩分、糖分の摂取がかたよっている」(9.0%)は、1割程度があげている。

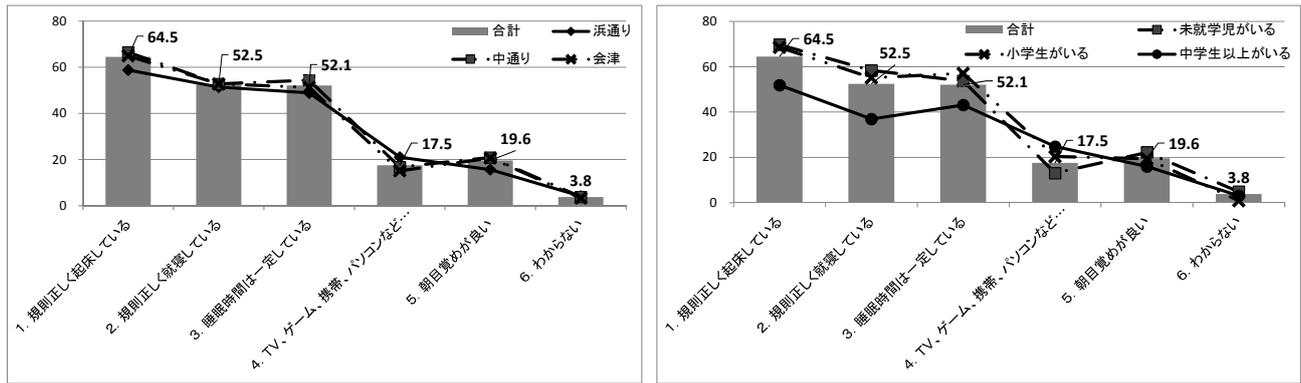
未就学児で他よりポイントが高いのは、「何かをしながら食べる」「果物をたくさん食べる」、逆に低いのは「魚より肉類を良く食べる」「出されたものは残さず食べる」「食べるのが速い」である。

「上の項目のどれにも当てはまらない」は6.4%、「幼少なのでまだわからない」は6.3%。

順位	選択肢	%
1	野菜を食べないことが多い	36.4
2	何かをしながら食べる	30.3
3	魚より肉類を良く食べる	29.3
4	たくさん食べる	28.9
5	果物をたくさん食べる	27.5
6	栄養バランスがとれていない	23.2
7	出されたものは残さず食べる	14.3
8	食べるのが速い	9.9
9	家族一緒に食事することが少ない	9.7
10	塩分、糖分の摂取がかたよっている	9.0
-	上の項目のどれにも当てはまらない	6.4
-	幼少なのでまだわからない	6.3

問 2 7 お子さんの睡眠についてお伺いします。あてはまる番号のすべてに○をつけてください。

お子さんが2人以上いらっしゃる場合は、小学生までの一番年長のお子さんについてお答えください。



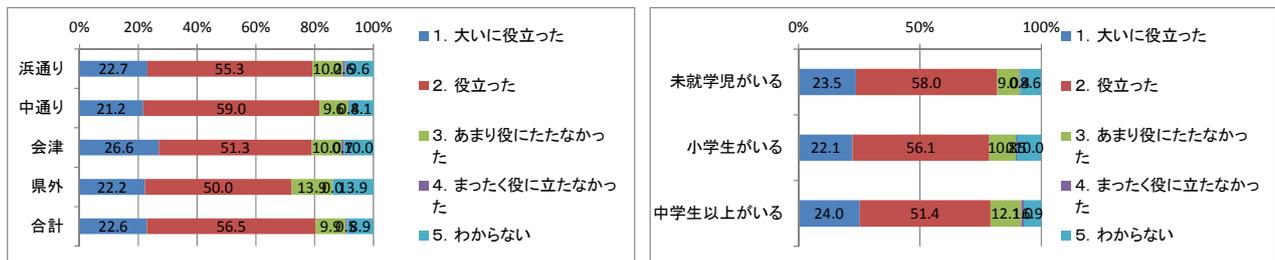
【半数以上が子どもは規則正しく睡眠をとっていると回答】(問 2 7)

「規則正しく起床」(64.5%)、「規則正しく就寝」(52.5%)、「睡眠時間は一定」(52.1%)と半数以上が規則正しい睡眠をとっていると回答。但し中学生は、15~20ポイント程度低い傾向で、規則正しくなくなっていることがわかる。

「朝目覚めが良い」は19.6%、「TV、ゲーム、携帯、パソコンなどのために就寝が遅くなることが多い」は17.5%。「わからない」は3.8%。

問 2 8 あなたにとって、母子健康手帳は役に立ちましたか。

あてはまる番号の1つに○をつけてください。

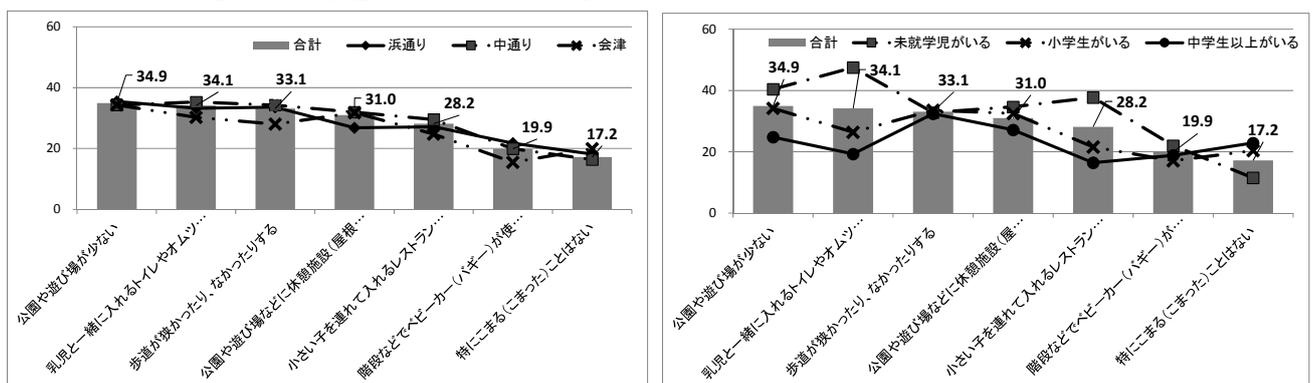


【8割が母子手帳は役に立っていると回答】(問 2 8)

「役立った」(56.5%)が半数以上で、「大いに役立った」(22.6%)を加えると79.1%が肯定的である。「あまり役にたたなかった」(9.9%)、「まったく役に立たなかった」(0.5%)で、約1割が否定的。「わからない」(8.9%)も約1割。

問 2 9 お子さんを連れて外出する時にこまることは、どのようなことですか。

あなたがこまると思うことを選んで、いくつでも○をつけてください。



順位	選択肢	%
1	公園や遊び場が少ない	34.9
2	乳児と一緒に入れるトイレやオムツ替えや授乳コーナーの設備がないところが多い	34.1
3	歩道が狭かったり、なかったりする	33.1
4	公園や遊び場などに休憩施設(屋根がある、手が洗えるなど)がない	31.0
5	小さい子を連れて入れるレストランやカフェがない	28.2
6	階段などでベビーカー(バギー)が使えないところが多い	19.9
-	特にこまる(こまった)ことはない	17.2

【子ども連れで困ることは公園や遊び場とその設備の不足やバリアフリー問題】(問29)

「公園や遊び場が少ない」(34.9%)

「乳児と一緒に入れるトイレやオムツ替えや授乳コーナーの設備がないところが多い」(34.1%)

「歩道が狭かったり、なかったりする」(33.1%)

「公園や遊び場などに休憩施設(屋根がある、手が洗えるなど)がない」(31.0%)

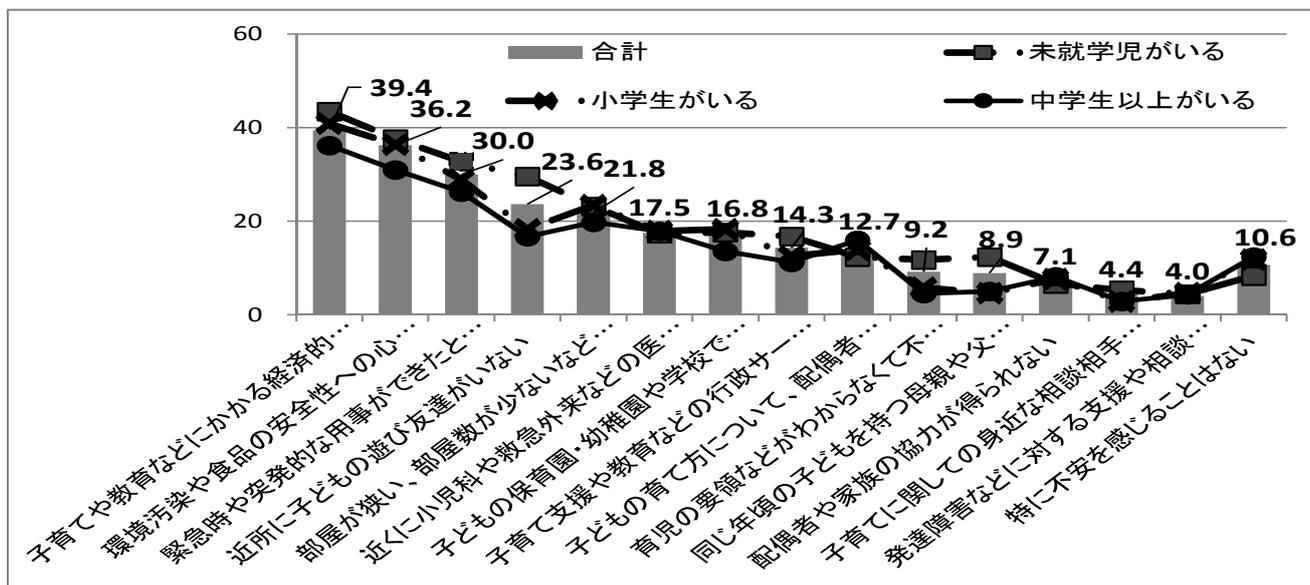
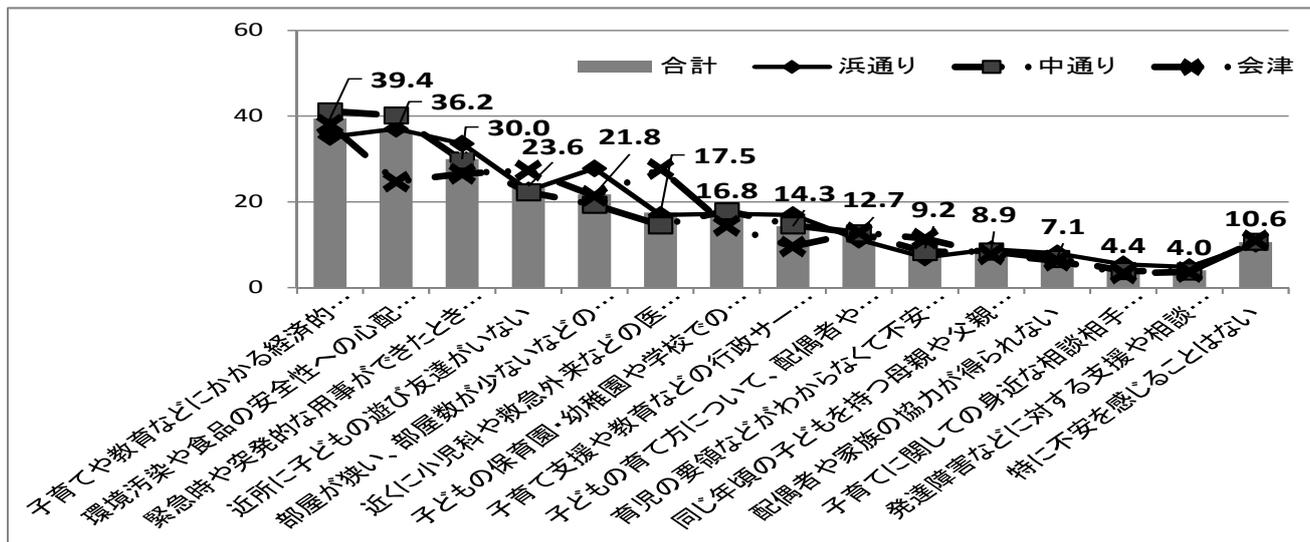
「小さい子を連れて入れるレストランやカフェがない」(28.2%)

「階段などでベビーカー(バギー)が使えないところが多い」(19.9%)

「特にこまる(こまった)ことはない」(17.2%)

問30 子育てで不安を感じることはどんなことですか。

あてはまる番号のすべてに○をつけてください。



【子育てで不安を感じることは教育経費、安全性、緊急時対応などに次いで遊び友達】（問30）

子育てで不安を感じることは「子育てや教育などにかかる経済的な問題」（39.4%）、「環境汚染や食品の安全性への心配（放射線の影響などを含む）」（36.2%）、「緊急時や突発的な用事ができたときに、子どもを預けるところがない」（30.0%）

「近所に子どもの遊び友達がいない」（23.6%）、「部屋が狭い、部屋数が少ないなどの住宅の問題」（21.8%）

「近くに小児科や救急外来などの医療機関がない」（17.5%）、「子どもの保育園・幼稚園や学校での生活や交友関係」（16.8%）、「子育て支援や教育などの行政サービスに関して情報が入手しにくい」（14.3%）

「子どもの育て方について、配偶者や家族と意見が合わない」（12.7%）、「育児の要領などがわからなくて不安である」（9.2%）

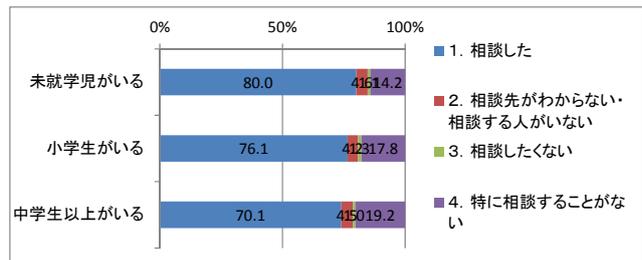
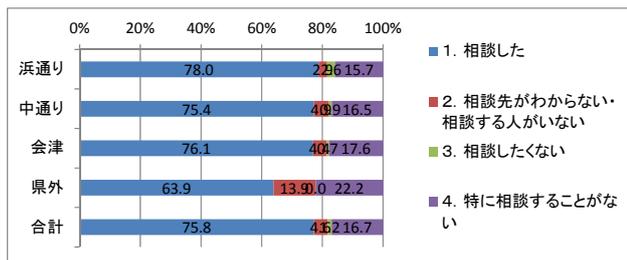
「同じ年頃の子どもを持つ親が身近にいない」（8.9%）、「配偶者や家族の協力が得られない」（7.1%）、「子育てに関しての身近な相談相手がいない」（4.4%）、「発達障がいなどに対する支援や相談窓口がない」（4.0%）

「特に不安を感じることはない」（10.6%）

順位	選択肢	%
1	子育てや教育などにかかる経済的な問題	39.4
2	環境汚染や食品の安全性への心配(放射線の影響などを含む)	36.2
3	緊急時や突発的な用事ができたときに、子どもを預けるところがない	30.0
4	近所に子どもの遊び友達がいない	23.6
5	部屋が狭い、部屋数が少ないなどの住宅の問題	21.8
6	近くに小児科や救急外来などの医療機関がない	17.5
7	子どもの保育園・幼稚園や学校での生活や交友関係	16.8
8	子育て支援や教育などの行政サービスに関して情報が入手しにくい	14.3
9	子どもの育て方について、配偶者や家族と意見が合わない	12.7
10	育児の要領などがわからなくて不安である	9.2
11	同じ年頃の子どもを持つ母親や父親が身近にいない	8.9
12	配偶者や家族の協力が得られない	7.1
13	子育てに関しての身近な相談相手がいない	4.4
14	発達障がいなどに対する支援や相談窓口がない	4.0
-	特に不安を感じることはない	10.6

問31 あなたは子育てについて誰かに相談したことがありますか。

あてはまる番号の1つに○をつけて下さい。



【子育て相談経験者は75.8%で、子どもの年齢が低いほど割合は高い】（問31）

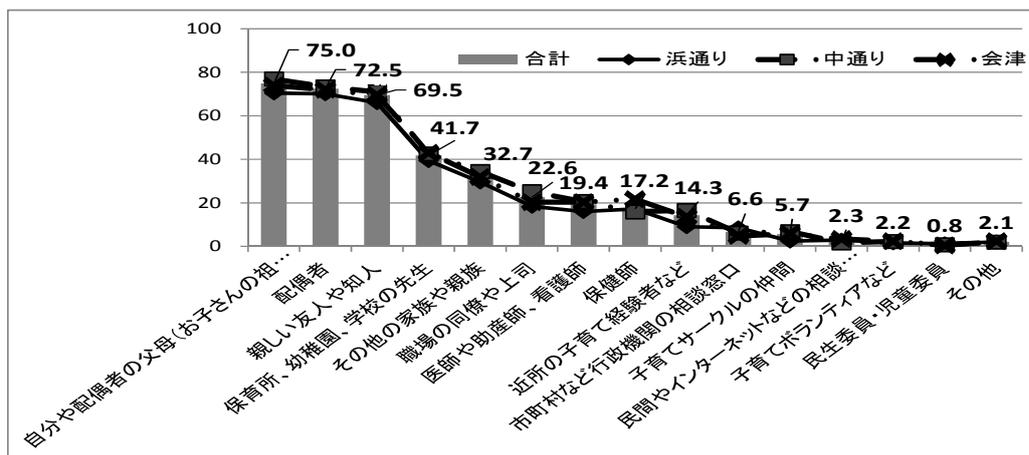
子育てについて「相談した」方は75.8%で、子どもの年齢が低いほど割合は高い。

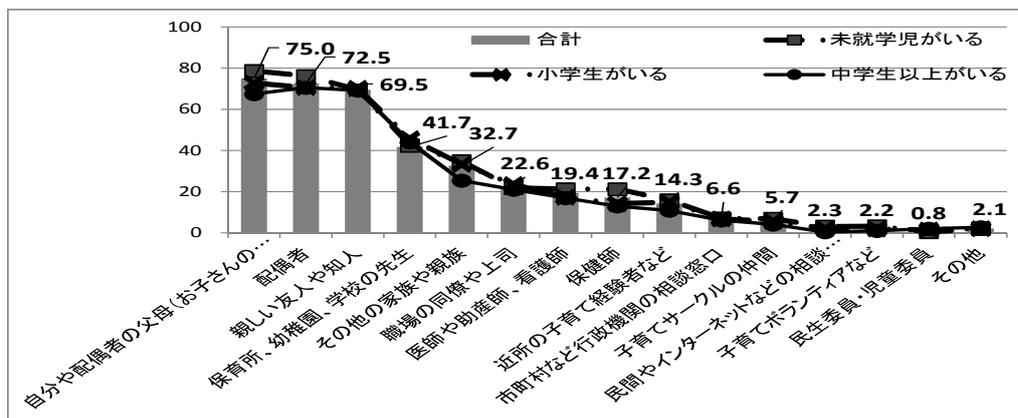
「相談先がわからない・相談する人がいない」（4.6%）、「相談したくない」（1.2%）は、少ない。

「特に相談することがない」（16.7%）は2割弱。

問32 問31で「1. 相談した」と回答された方にお聞きします。

どのような方に相談しましたか。あてはまる番号のすべてに○をつけてください。





【子育て相談の相手は身近な家族や友人が7割以上】(問3 2)

子育てについて「相談した」相手は「自分や配偶者の父母(お子さんの祖父)」(75.0%)、「配偶者」(72.5%)、「親しい友人や知人」(69.5%)など身近な家族や友人が7割以上で、もっとも多い。これに次いで「保育所、幼稚園、学校の先生」(41.7%)、「その他の家族や親族」(32.7%)などが日常生活の中で相談できる相手となっている。

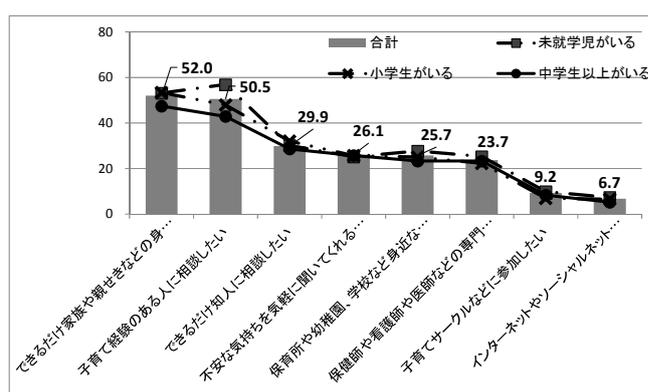
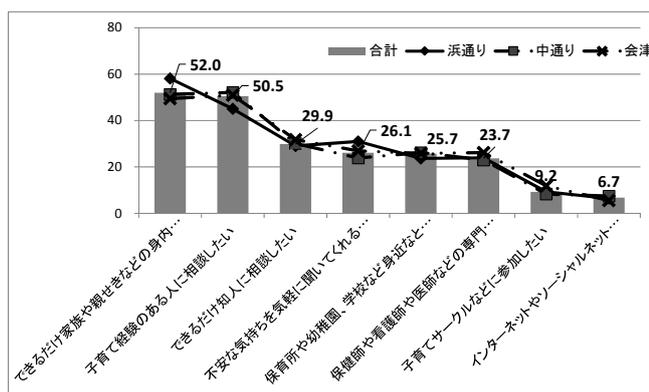
「職場の同僚や上司」(22.6%)、「医師や助産師、看護師」(19.4%)、「保健師」(17.2%)などは2割程度で、特定の問題に限って相談していると思われる。

「近所の子育て経験者など」(14.3%)、「市町村など行政機関の相談窓口」(6.6%)、「子育てサークルの仲間」(5.7%)、「民間やインターネットなどの相談サービス」(2.3%)、「子育てボランティアなど」(2.2%)、「民生委員・児童委員」(0.8%)などへの相談は極めて少なく、より効果的な相談窓口となる工夫が必要。

順位	選択肢	%
1	自分や配偶者の父母(お子さんの祖父)	75.0
2	配偶者	72.5
3	親しい友人や知人	69.5
4	保育所、幼稚園、学校の先生	41.7
5	その他の家族や親族	32.7
6	職場の同僚や上司	22.6
7	医師や助産師、看護師	19.4
8	保健師	17.2
9	近所の子育て経験者など	14.3
10	市町村など行政機関の相談窓口	6.6
11	子育てサークルの仲間	5.7
12	民間やインターネットなどの相談サービス	2.3
13	子育てボランティアなど	2.2
14	民生委員・児童委員	0.8
-	その他	2.1

問3 3 あなたは子育てについて、どのような相談先や相談方法が良いと思いますか。

あてはまる番号のすべてに○をつけてください。



順位	選択肢	%
1	できるだけ家族や親せきなどの身内に相談したい	52.0
2	子育て経験のある人に相談したい	50.5
3	できるだけ知人に相談したい	29.9
4	不安な気持ちを気軽に聞いてくれる人が身近にいてほしい	26.1
5	保育所や幼稚園、学校など身近なところに相談できる窓口がほしい	25.7
6	保健師や看護師や医師などの専門家に相談にしたい	23.7
7	子育てサークルなどに参加したい	9.2
8	インターネットやソーシャルネットワーク(SNS)を活用したい	6.7

【子育ての相談では日常的で身近な人が求められている】（問33）

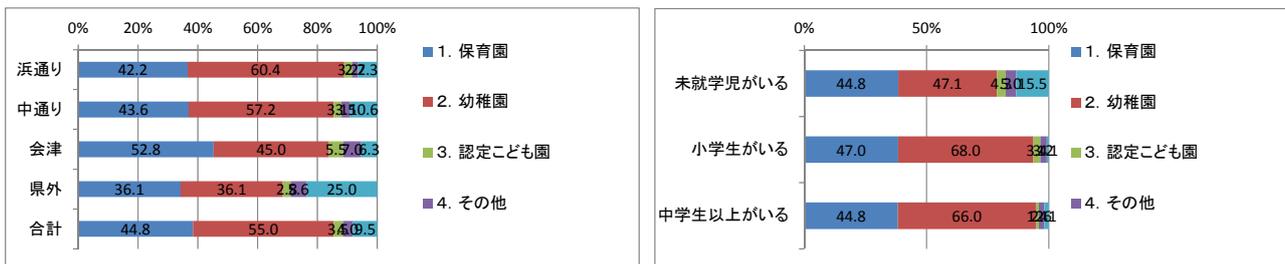
相談先や相談方法については「できるだけ家族や親せきなどの身内に相談したい」（52.0%）、「できるだけ知人に相談したい」（29.9%）、「不安な気持ちを気軽に聞いてくれる人が身近にいてほしい」（26.1%）など、日常的に身近なところが求められている。

経験のある人や専門家への期待として「子育て経験のある人に相談したい」（50.5%）、「保育所や幼稚園、学校など身近なところに相談できる窓口がほしい」（25.7%）、「保健師や看護師や医師などの専門家に相談にしたい」（23.7%）などがあげられている。

「子育てサークルなどに参加したい」（9.2%）、「インターネットやソーシャルネットワーク（SNS）を活用したい」（6.7%）などは、現状では少数派である。

問34 あなたのお子さんが就学前に通園した、または現在通園している施設に○をつけてください。

あてはまる番号のすべてに○をつけてください。



【未就学児が通っているのは保育園と幼稚園がほぼ半数ずつ】（問34）

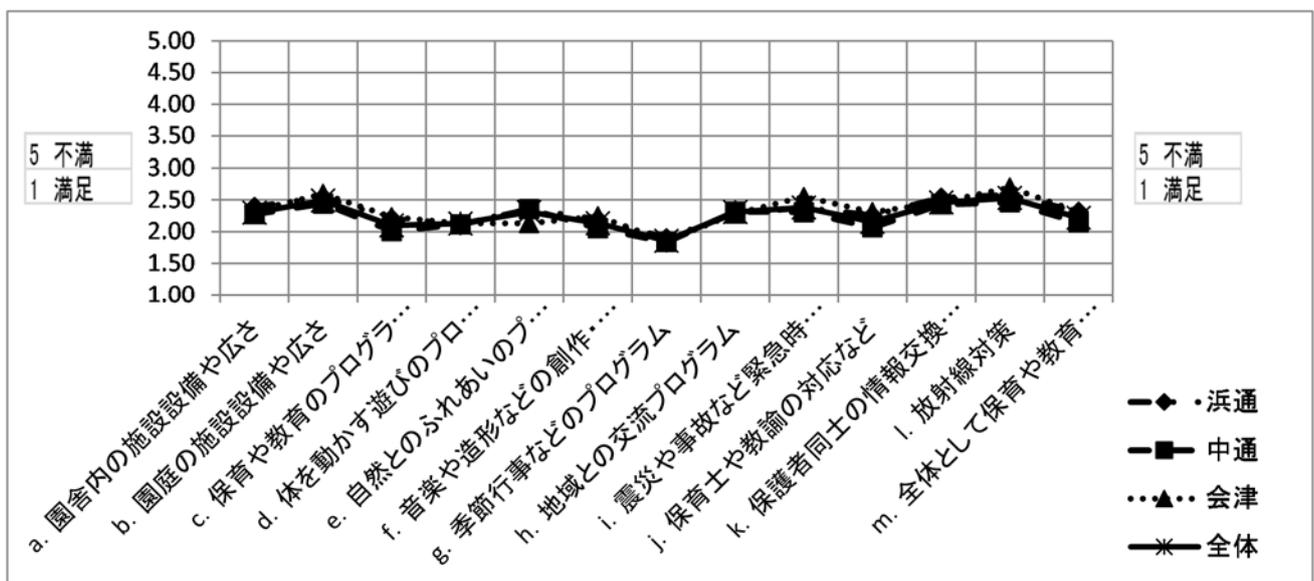
「保育園」（44.8%）と「幼稚園」（55.0%）はほぼ半数ずつである。「認定こども園」（3.5%）、「その他」（4.0%）、「就学前施設には通っていない」（9.5%）。

問35 問34で、1～4 と答えた方に、お聞きします。

現在の保育園・幼稚園・こども園の施設環境や保育・教育の状況に満足していますか。

5段階のうちにあてはまる番号を選んで○をつけてください。

複数の施設に通園されている場合は、最近通園された施設についてお答えください。



問35 保育園・幼稚園・こども園の施設環境や保育・教育の状況	平均			
	浜通	中通	会津	全体
a. 園舎内の施設設備や広さ	2.39	2.27	2.33	2.30
b. 園庭の施設設備や広さ	2.54	2.44	2.60	2.49
c. 保育や教育のプログラム全般	2.20	2.01	2.23	2.10
d. 体を動かす遊びのプログラム	2.13	2.11	2.13	2.13
e. 自然とのふれあいのプログラム	2.36	2.35	2.13	2.31
f. 音楽や造形などの創作・表現活動のプログラム	2.20	2.06	2.24	2.13
g. 季節行事などのプログラム	1.90	1.84	1.86	1.86
h. 地域との交流プログラム	2.29	2.32	2.29	2.31
i. 震災や事故など緊急時に対する備え	2.38	2.31	2.55	2.38
j. 保育士や教諭の対応など	2.26	2.07	2.31	2.16
k. 保護者同士の情報交換や交流	2.54	2.43	2.46	2.46
l. 放射線対策	2.58	2.46	2.70	2.53
m. 全体として保育や教育の現状に満足している	2.32	2.15	2.31	2.22

□地域間の差は小さい

(会津地域は自然ふれあいプログラムが幾分高く、緊急時に対する備え、放射線対策が幾分低い)

□次の2種類の項目については満足度が低めである。

1. 放射線対策・保護者同士の情報交換や交流・緊急時に対する備え

実際に生じた事態への対応として、現状の対応への満足度が低めである。

保護者同士の情報交換の必要性が認識された。

地域との交流プログラムの満足度もやや低い。

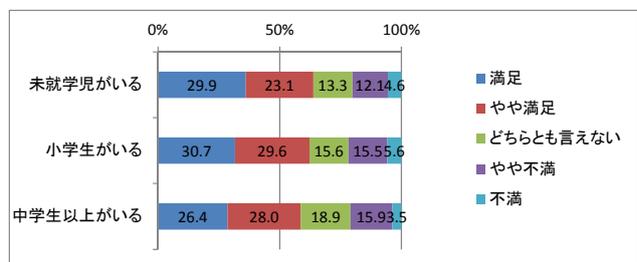
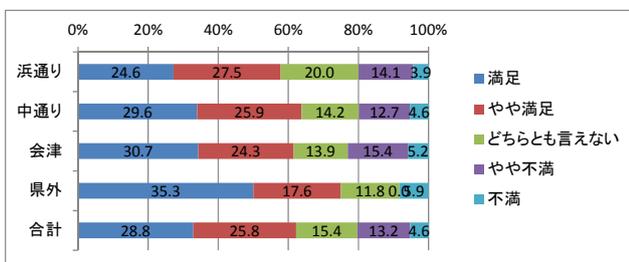
2. 園舎内・園庭の施設設備

他項目と比べると満足度は低め。園舎と比べて園庭の満足度は低い。評価にばらつきが大きい理由は「園により施設環境にばらつきがある」と思われるが、次の要因も考えられる。「必要と思う水準と、「一般的」として受容せざるを得ない水準にかい離があり、評価者によりどこに基準を置くかの違いが生じている。」

□季節行事などのプログラムは満足度が高めである。

□自然とのふれあいのプログラムは、体を動かす遊びのプログラムの満足度より低い。

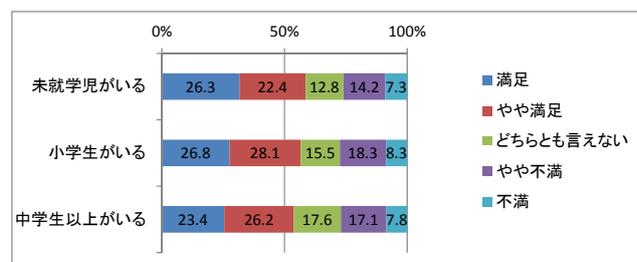
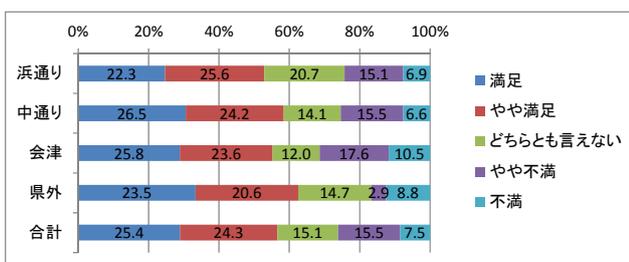
a. 園舎内の施設設備や広さ



「満足」(28.8%)、「やや満足」(25.8%)、合計は 54.6%。「どちらとも言えない」(15.4%)

「やや不満」(13.2%)、「不満」(4.6%)、合計は 17.8%。

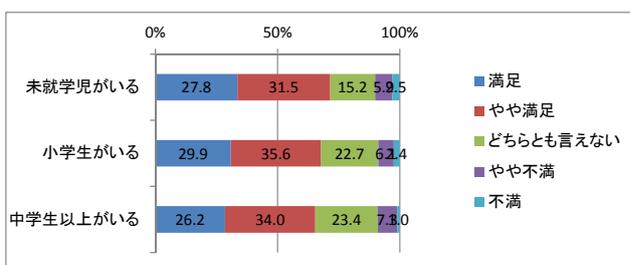
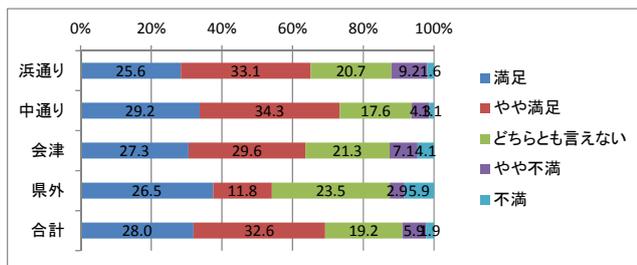
b. 園庭の施設設備や広さ



「満足」(25.4%)、「やや満足」(24.3%)、合計は 49.9%。「どちらとも言えない」(15.1%)

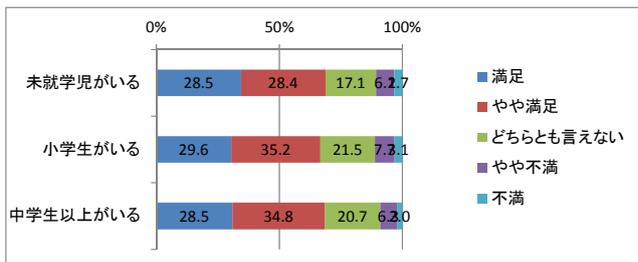
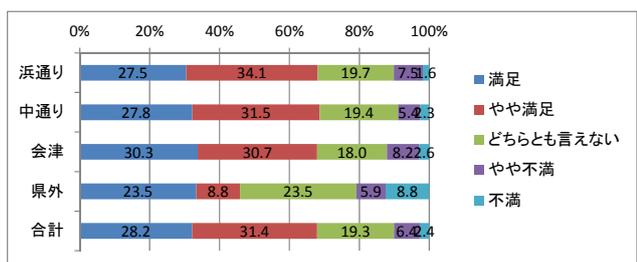
「やや不満」(15.5%)、「不満」(7.5%)、合計は 23.0%。

c. 保育や教育のプログラム全般



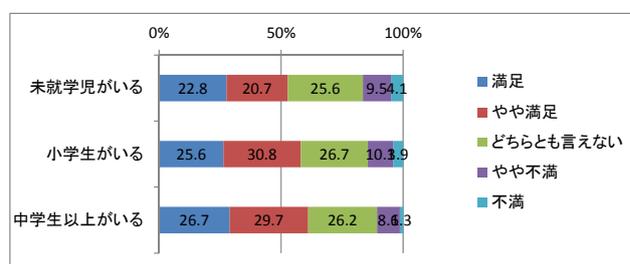
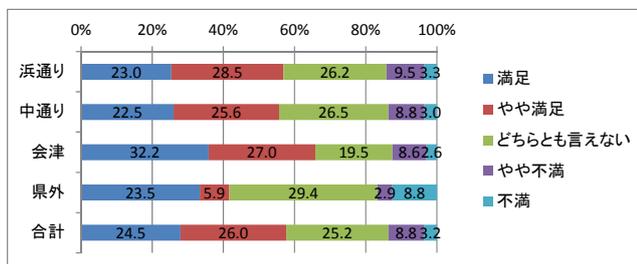
「満足」(28.0%)、「やや満足」(32.6%)、合計は60.6%。「どちらとも言えない」(19.2%)
「やや不満」(5.9%)、「不満」(1.9%)、合計は7.8%。

d. 体を動かす遊びのプログラム



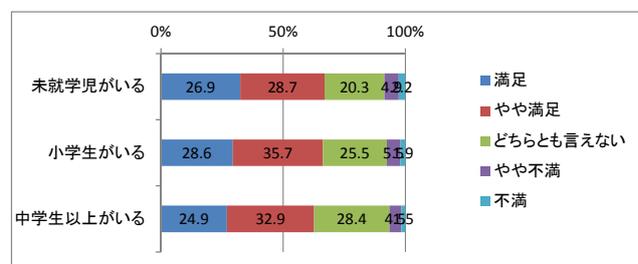
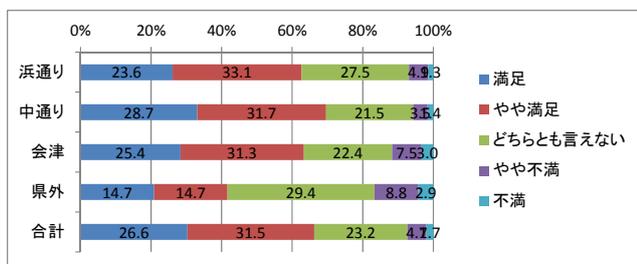
「満足」(28.2%)、「やや満足」(31.4%)、合計は59.6%。「どちらとも言えない」(19.3%)
「やや不満」(6.4%)、「不満」(2.4%)、合計は8.8%。

e. 自然とのふれあいのプログラム



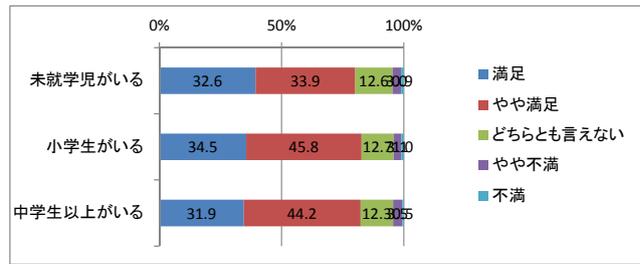
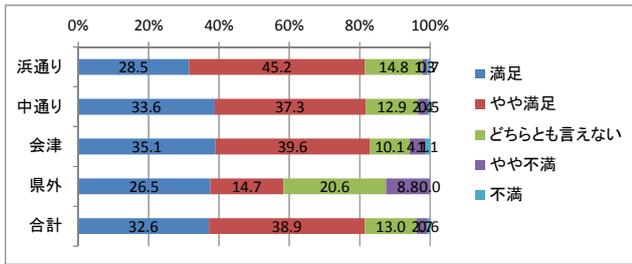
「満足」(24.5%)、「やや満足」(26.0%)、合計は50.5%。「どちらとも言えない」(25.2%)
「やや不満」(8.8%)、「不満」(3.2%)、合計は12.0%。

f. 音楽や造形などの創作・表現活動のプログラム



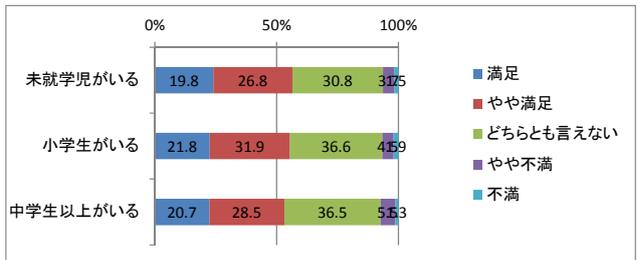
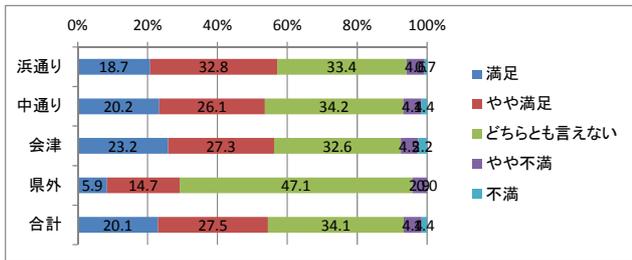
「満足」(26.6%)、「やや満足」(31.5%)、合計は58.1%。「どちらとも言えない」(23.2%)
「やや不満」(4.7%)、「不満」(1.7%)、合計は6.4%。

g. 季節行事などのプログラム



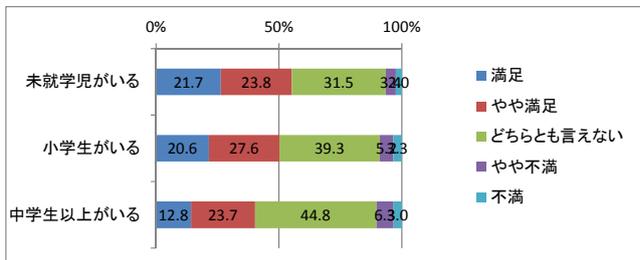
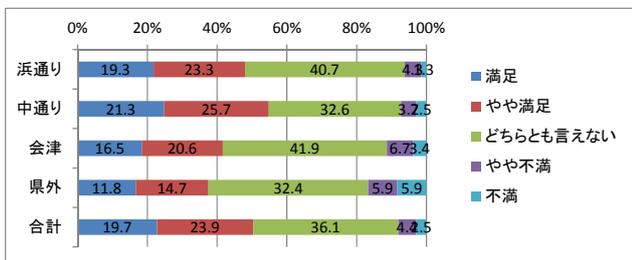
「満足」(32.6%)、「やや満足」(38.9%)、合計は 71.5%。満足度は非常に高い。
 「どちらとも言えない」(13.0%)、「やや不満」(2.7%)、「不満」(0.6%)、合計は 3.3%。

h. 地域との交流プログラム



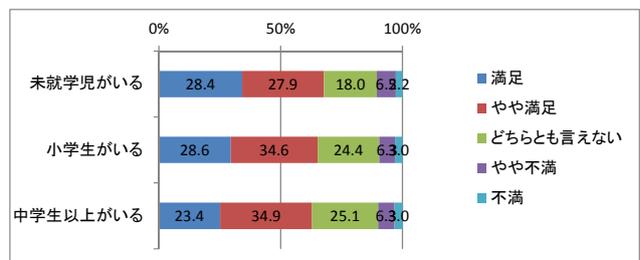
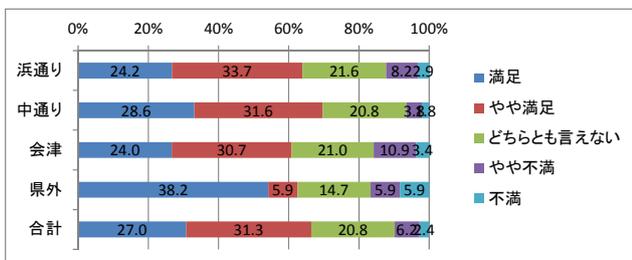
「満足」(20.1%)、「やや満足」(27.5%)、合計は 47.6%。「どちらとも言えない」(34.1%)
 「やや不満」(4.4%)、「不満」(1.4%)、合計は 5.8%。

i. 震災や事故など緊急時に対する備え



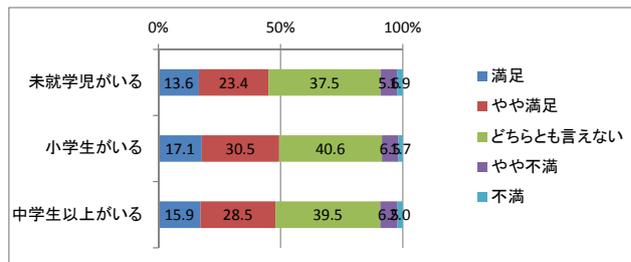
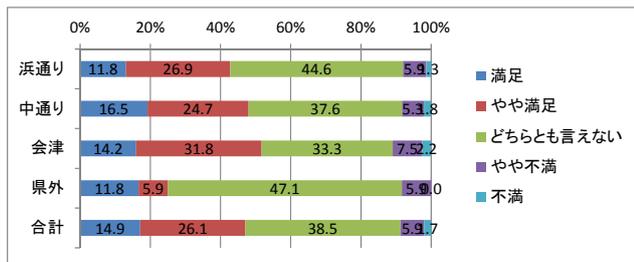
「満足」(19.7%)、「やや満足」(23.9%)、合計は 43.6%。「どちらとも言えない」(36.1%)
 「やや不満」(4.4%)、「不満」(2.5%)、合計は 6.9%。

j. 保育士や教諭の対応など



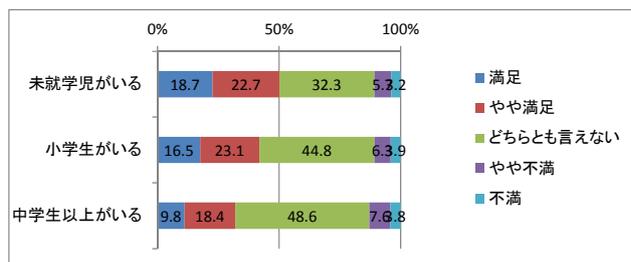
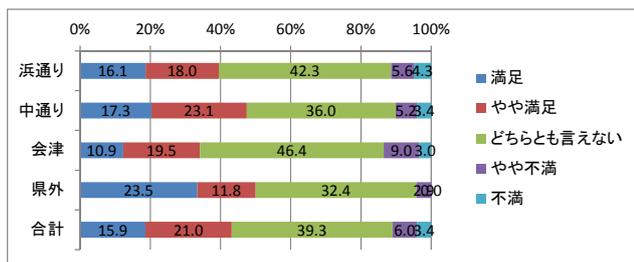
「満足」(27.0%)、「やや満足」(31.3%)、合計は 58.3%。「どちらとも言えない」(20.8%)
 「やや不満」(6.2%)、「不満」(2.4%)、合計は 8.6%。

k. 保護者同士の情報交換や交流



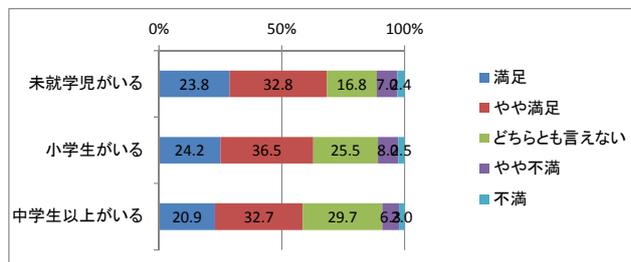
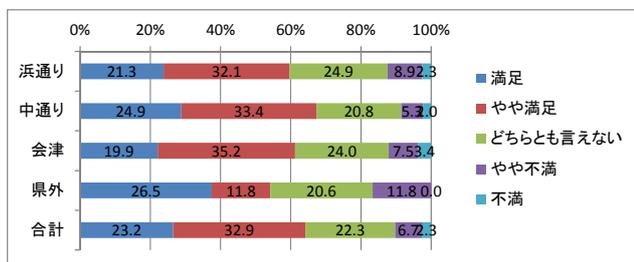
「満足」(14.9%)、「やや満足」(26.1%)、合計は41.0%。「どちらとも言えない」(38.5%)
「やや不満」(5.9%)、「不満」(1.7%)、合計は7.6%。

l. 放射線対策



「満足」(15.9%)、「やや満足」(21.0%)、合計は36.9%。満足度は低い但不満度も高くはない。
「どちらとも言えない」(39.3%)、「やや不満」(6.0%)、「不満」(3.4%)、合計は9.4%。

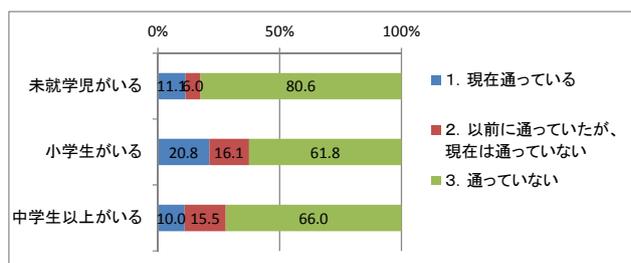
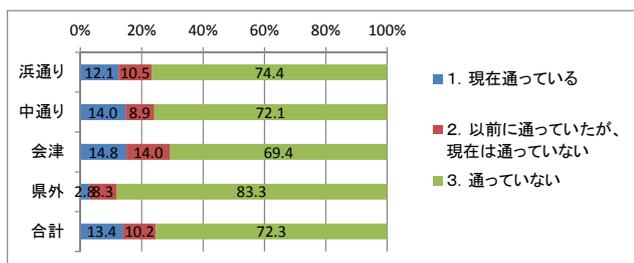
m. 全体として保育や教育の現状に満足している



【保育・教育への満足度は放射線対策・情報交換や交流・緊急時備え・施設設備がやや低い】(問35)
「満足」(23.2%)、「やや満足」(32.9%)、合計は56.1%。「どちらとも言えない」(22.3%)
「やや不満」(6.7%)、「不満」(2.3%)、合計は9.0%。

問36 あなたのお子さんは、学童保育(放課後児童クラブ)に通っていますか。

あてはまる番号1つだけに○をつけて下さい。



【学童保育(放課後児童クラブ)に通っている子どもは1割強】(問36)

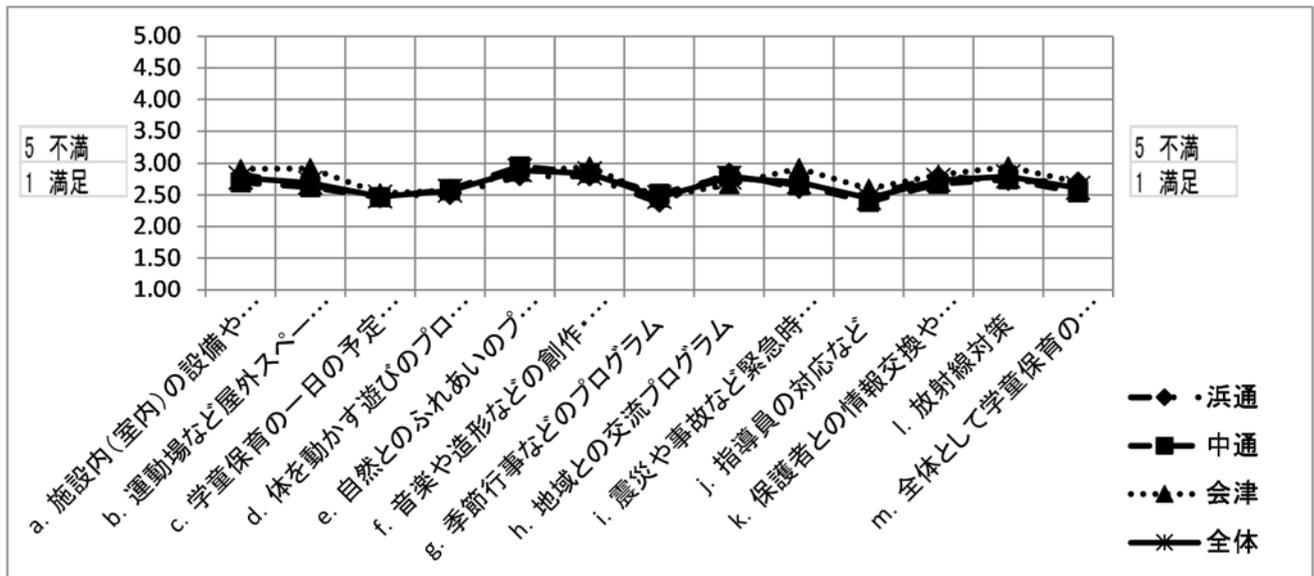
「現在通っている」(13.4%)「以前に通っていたが、現在は通っていない」(10.2%)、合計23.6%。

学童保育（放課後児童クラブ）に「通っていない」（72.3%）が7割以上。

問37 問36で、1 または 2 と答えた方に、お聞きします。

現在（あるいは通っていた時の）学童保育の施設環境や活動状況に満足していますか。

5段階のうちのアてはまる番号を選んで○をつけて下さい。



問37	平均			
	浜通	中通	会津	全体
学童保育の施設環境や活動状況				
a. 施設内(室内)の設備や広さ	2.83	2.70	2.91	2.77
b. 運動場など屋外スペースの設備や広さ	2.65	2.62	2.92	2.69
c. 学童保育の一日の予定(学習や遊びの時間配分など)	2.49	2.46	2.53	2.48
d. 体を動かす遊びのプログラム	2.50	2.59	2.57	2.56
e. 自然とのふれあいのプログラム	2.80	2.95	2.87	2.89
f. 音楽や造形などの創作・表現活動のプログラム	2.79	2.85	2.95	2.84
g. 季節行事などのプログラム	2.38	2.52	2.46	2.47
h. 地域との交流プログラム	2.85	2.80	2.67	2.77
i. 震災や事故など緊急時に対する備え	2.60	2.65	2.92	2.70
j. 指導員の対応など	2.49	2.39	2.60	2.45
k. 保護者との情報交換や交流	2.80	2.68	2.82	2.74
l. 放射線対策	2.72	2.74	2.95	2.79
m. 全体として学童保育の現状に満足している	2.71	2.54	2.70	2.61

【学童保育の環境・活動への満足度は総じて低い】（問37）

□学童保育は、保育園・幼稚園・こども園と比べ、全項目で評価が明らかに低い。

□地域間の差は少ない

□次の3種類の項目については満足度が特に低めである。

1. 自然とのふれあい、音楽や造形などの創作・表現活動のプログラム

学童保育を利用する親は能動的な活動提供を期待しているが、プログラム提供が十分でないことを示している

2. 放射線対策・保護者同士の情報交換や交流・緊急時に対する備え

実際に生じた事態への対応として、現状の対応への満足度が低めである。

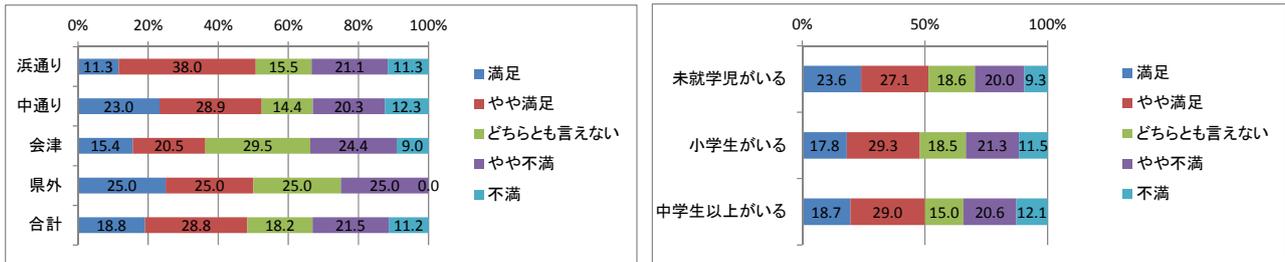
保護者同士の情報交換、地域との交流の必要性が認識された。

3. 園舎内・園庭の施設設備

他項目と比べると満足度は低め。

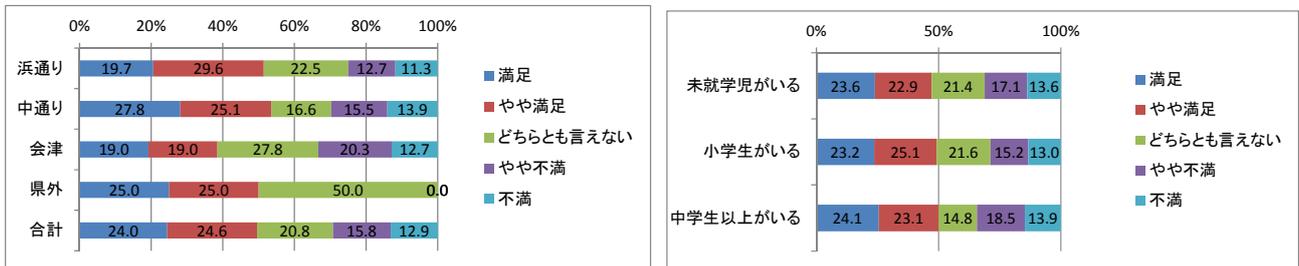
評価にばらつきが大きい理由は、「園により施設環境にばらつきがある」と思われるが、次の要因も考えられる。「必要と思う水準と、「一般的」として受容せざるを得ない水準にかい離があり、評価者によりどこに基準を置くかの違いが生じている。」

a. 施設内（室内）の設備や広さ



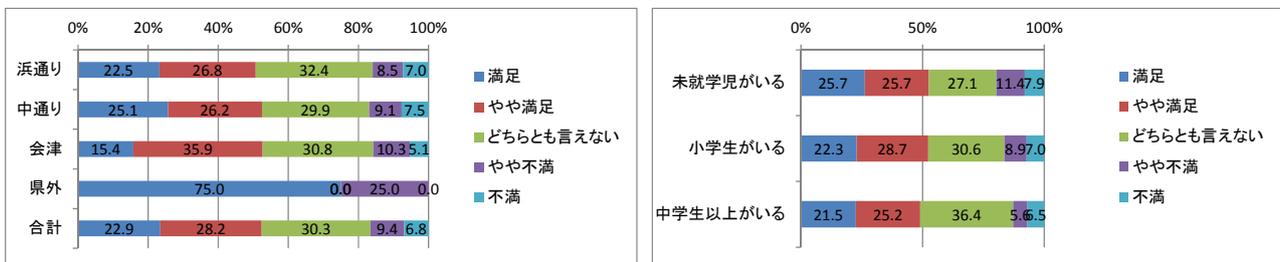
「満足」(18.8%)、「やや満足」(28.8%)、合計は 47.6%。「どちらとも言えない」(18.2%)
 「やや不満」(21.5%)、「不満」(11.2%)、合計は 32.7%。不満度が高い。

b. 運動場など屋外スペースの設備や広さ



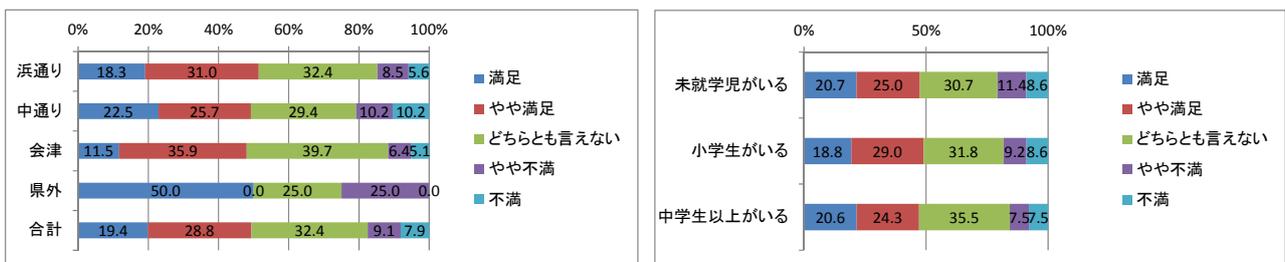
「満足」(24.0%)、「やや満足」(24.6%)、合計は 48.6%。「どちらとも言えない」(20.8%)
 「やや不満」(15.8%)、「不満」(12.9%)、合計は 28.7%。不満度が高い。

c. 学童保育の一日の予定（学習や遊びの時間配分など）



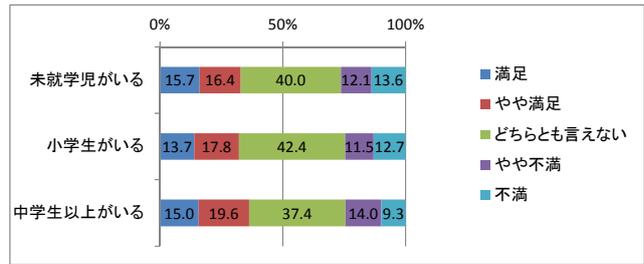
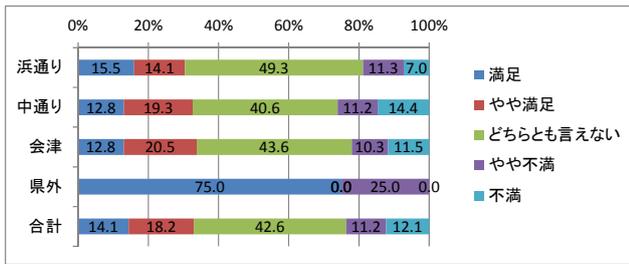
「満足」(22.9%)、「やや満足」(28.2%)、合計は 51.1%。「どちらとも言えない」(30.3%)
 「やや不満」(9.4%)、「不満」(6.8%)、合計は 16.2%。

d. 体を動かす遊びのプログラム



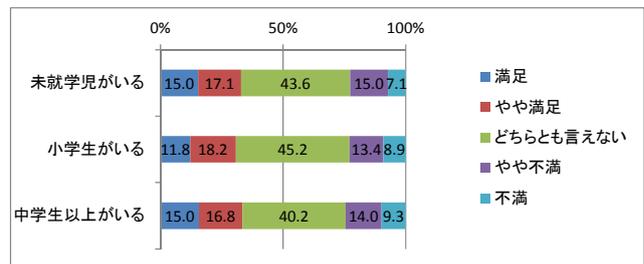
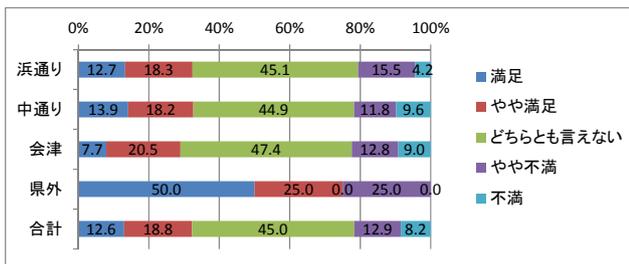
「満足」(19.4%)、「やや満足」(28.8%)、合計は 48.2%。「どちらとも言えない」(32.4%)
 「やや不満」(9.1%)、「不満」(7.9%)、合計は 17.0%。

e. 自然とのふれあいのプログラム



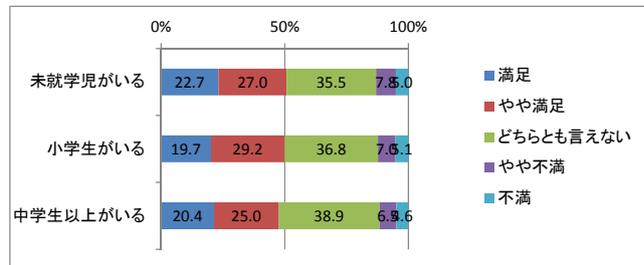
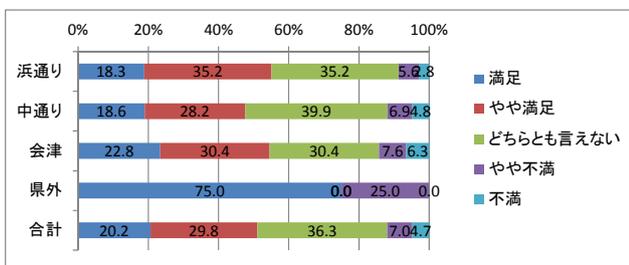
「満足」(14.1%)、「やや満足」(18.2%)、合計は 32.3%。満足度は低く、不満度がやや高い。
 「どちらとも言えない」(42.6%)
 「やや不満」(11.2%)、「不満」(12.1%)、合計は 23.3%。

f. 音楽や造形などの創作・表現活動のプログラム



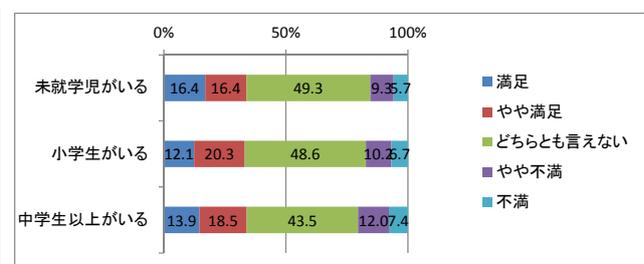
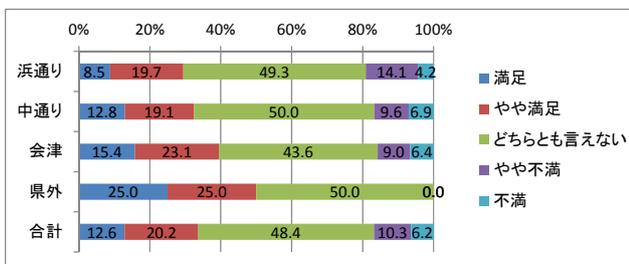
「満足」(12.6%)、「やや満足」(18.8%)、合計は 31.4%。「どちらとも言えない」(45.0%)
 「やや不満」(12.9%)、「不満」(8.2%)、合計は 21.1%。

g. 季節行事などのプログラム



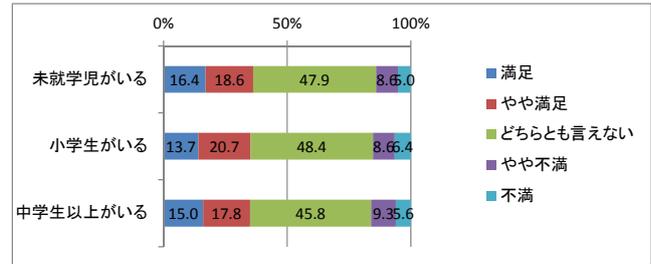
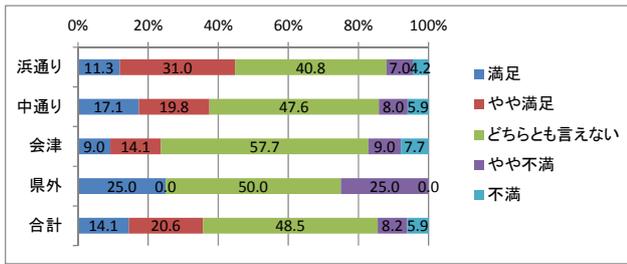
「満足」(20.2%)、「やや満足」(29.8%)、合計は 50.0%。「どちらとも言えない」(36.3%)
 「やや不満」(7.0%)、「不満」(4.7%)、合計は 11.7%。

h. 地域との交流プログラム



「満足」(12.6%)、「やや満足」(20.2%)、合計は 32.8%。「どちらとも言えない」(48.4%)
 「やや不満」(10.3%)、「不満」(6.2%)、合計は 16.5%。

i. 震災や事故など緊急時に対する備え

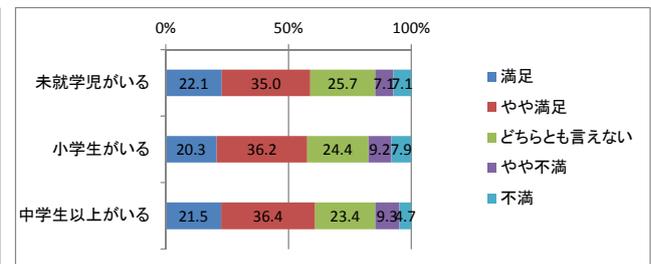
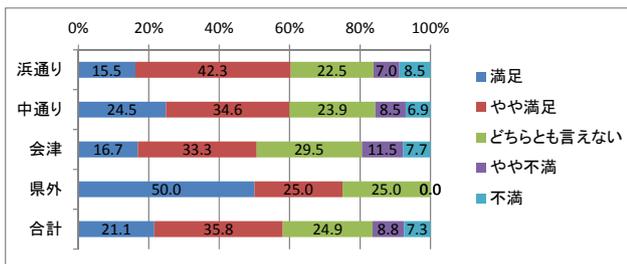


「満足」(14.1%)、「やや満足」(20.6%)、合計は 34.7%。

「どちらとも言えない」(48.5%)、満足度は高くないが、不満度も高くはない。

「やや不満」(8.2%)、「不満」(5.9%)、合計は 14.0%。

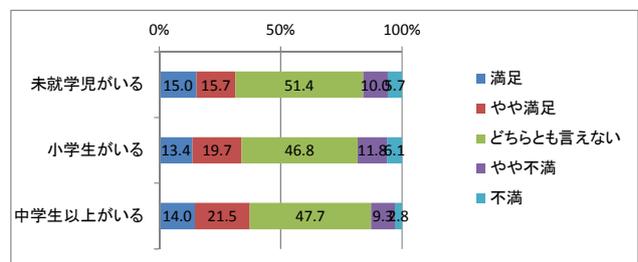
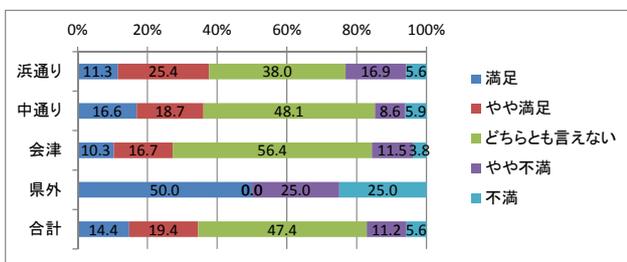
j. 指導員の対応など



「満足」(21.1%)、「やや満足」(35.8%)、合計は 56.9%。「どちらとも言えない」(24.9%)

「やや不満」(8.8%)、「不満」(7.3%)、合計は 16.1%。

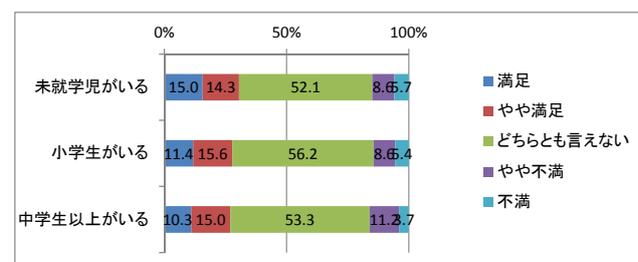
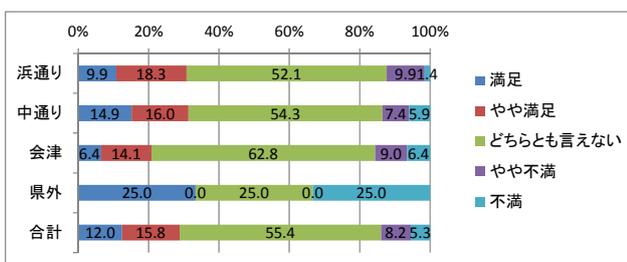
k. 保護者との情報交換や交流



「満足」(14.4%)、「やや満足」(19.4%)、合計は 33.8%。「どちらとも言えない」(47.4%)

「やや不満」(11.2%)、「不満」(5.6%)、合計は 16.8%。

l. 放射線対策

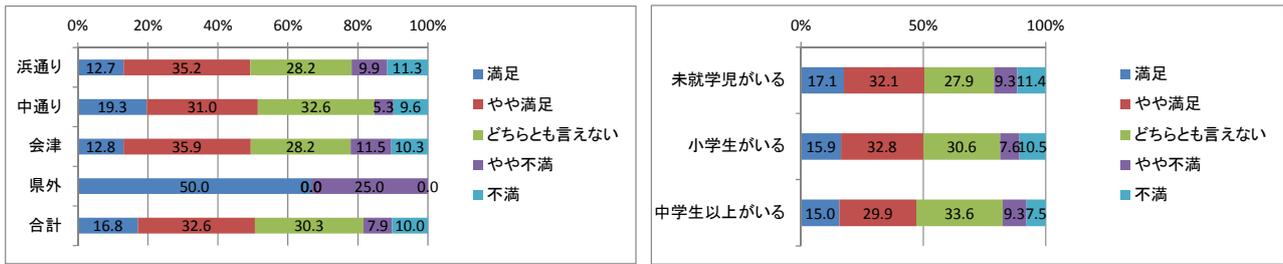


「満足」(12.0%)、「やや満足」(15.8%)、合計は 27.8%。

「どちらとも言えない」(55.4%)、満足度は低い、不満度もあまり高くはない。

「やや不満」(8.2%)、「不満」(5.3%)、合計は 13.5%。

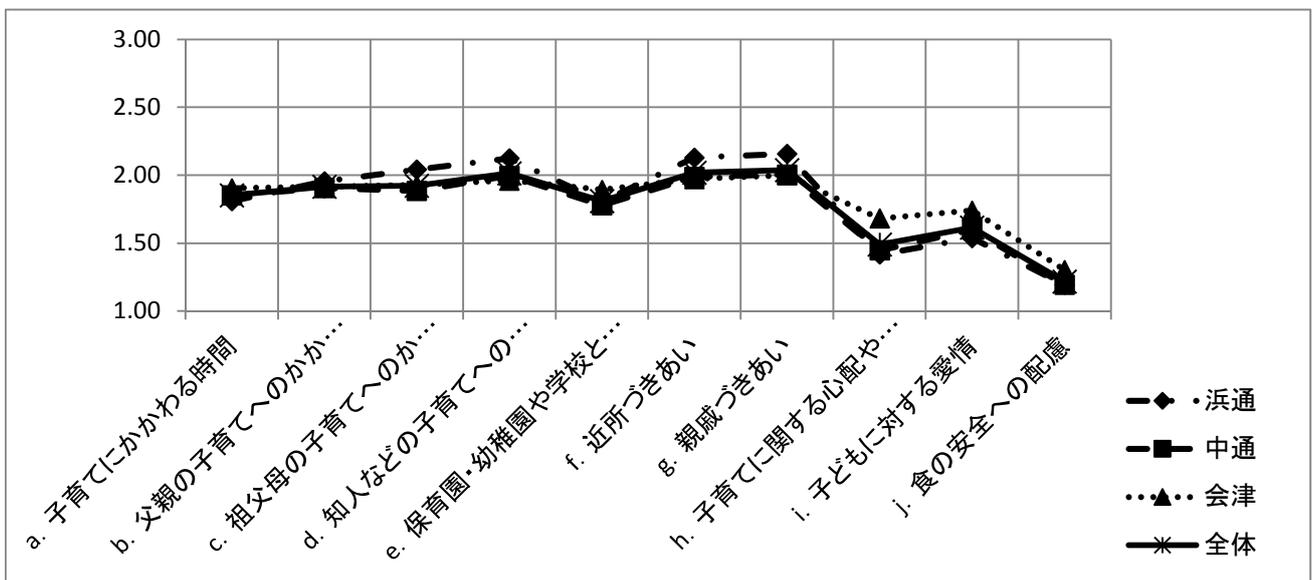
m. 全体として学童保育の現状に満足している



「満足」(16.8%)、「やや満足」(32.6%)、合計は 49.4%。「どちらとも言えない」(30.3%)
「やや不満」(7.9%)、「不満」(10.0%)、合計は 17.9%。

問 38 震災の影響によって、あなたの子育てにおいて、変化したと思うことがありますか。

3段階のうちにあてはまる番号を選んで○をつけてください。



問38 震災の影響によって、あなたの子育てにおいて、変化したと思うこと	平均			
	浜通	中通	会津	全体
a. 子育てにかかわる時間	1.81	1.85	1.90	1.85
b. 父親の子育てへのかかわり	1.95	1.90	1.91	1.92
c. 祖父母の子育てへのかかわり	2.04	1.88	1.93	1.92
d. 知人などの子育てへのかかわり	2.12	2.00	1.96	2.01
e. 保育園・幼稚園や学校との連絡	1.80	1.78	1.89	1.81
f. 近所づきあい	2.13	1.99	1.97	2.02
g. 親戚づきあい	2.16	2.01	2.00	2.04
h. 子育てに関する心配や悩み	1.42	1.45	1.68	1.49
i. 子どもに対する愛情	1.54	1.60	1.74	1.61
j. 食の安全への配慮	1.19	1.19	1.30	1.22

【震災の影響によって、子育て環境が大きく変化した】(問 38)

地域間で比較すると、浜通りは変化がやや大きい

震災の影響によって、子育て環境が大きく変化した。

1. 子育ての不安が高まったことが確認された。

食に対する不安から、安全への配慮が特に高い。子育てに関する心配や悩みが全般的に高い。

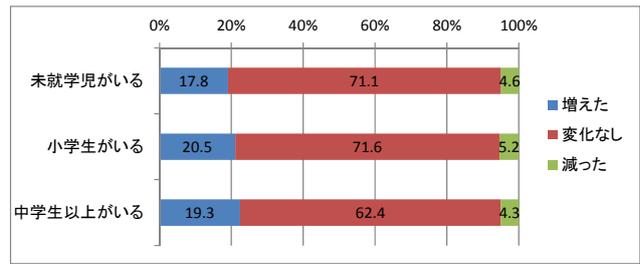
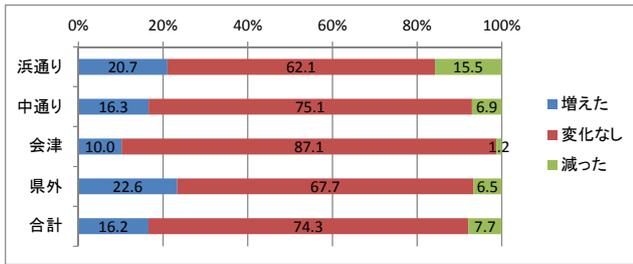
2. 子育てにかかわる時間が増加した。

子どもに対する愛情の高まりにも起因するが、室内にいる時間が増えたことや、放射線の影響を避けて遊ばせるため等の世話が増えたことによると思われる。

3. 子育てにいろいろな人が関わるようになった。

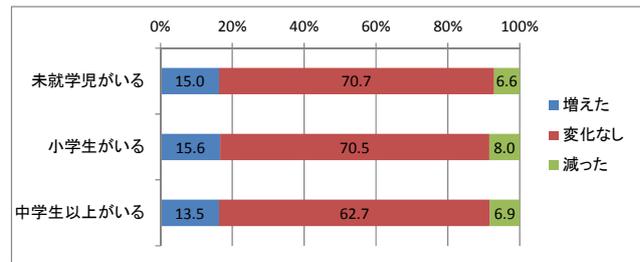
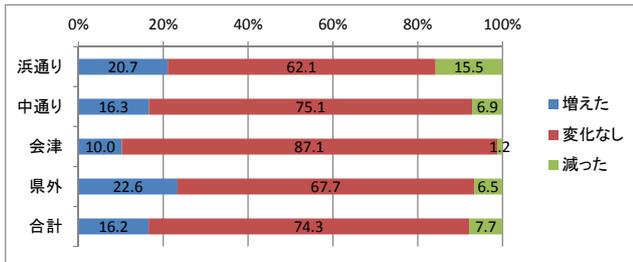
父親、祖父母、知人のかかわりが増えた。近所づきあい、親戚づきあいが増えた。

a. 子育てにかかわる時間



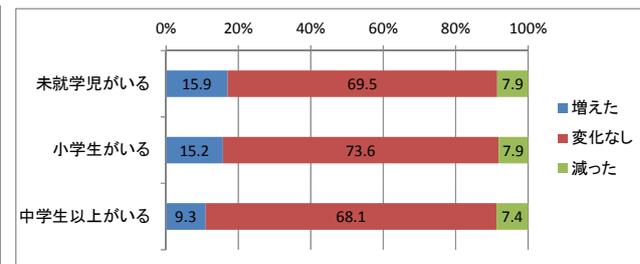
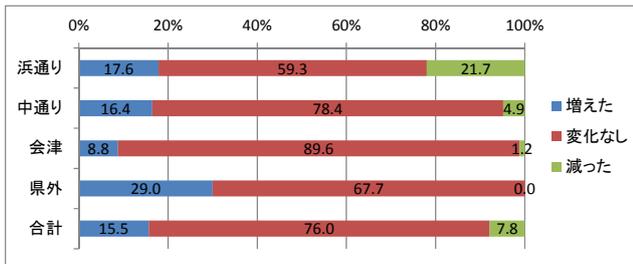
「増えた」(19.7%)。「変化なし」(74.8%)が7.5割。「減った」(5.1%)

b. 父親の子育てへのかかわり



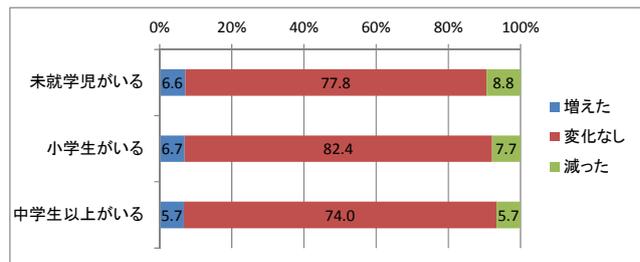
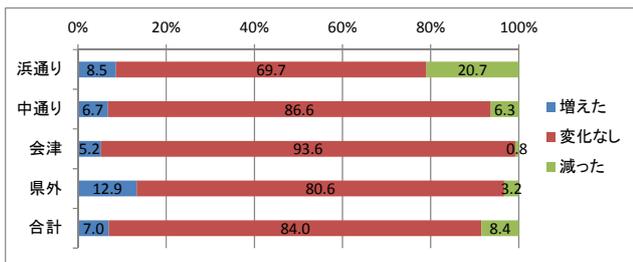
「増えた」(16.2%)。「変化なし」(74.3%)が7.5割。「減った」(7.7%)

c. 祖父母の子育てへのかかわり



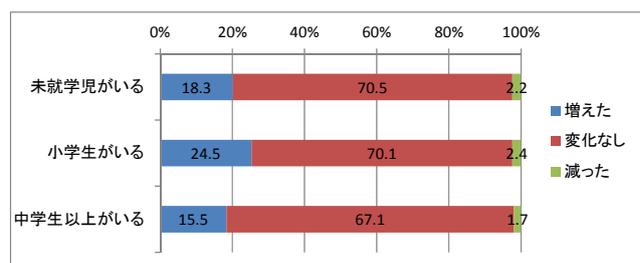
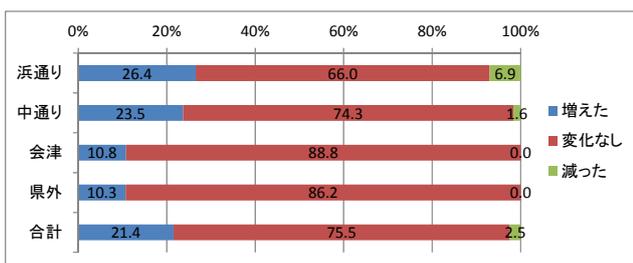
「増えた」(%15.5)。「変化なし」(76.0%)が7.5割。「減った」(7.8%)

d. 知人などの子育てへのかかわり



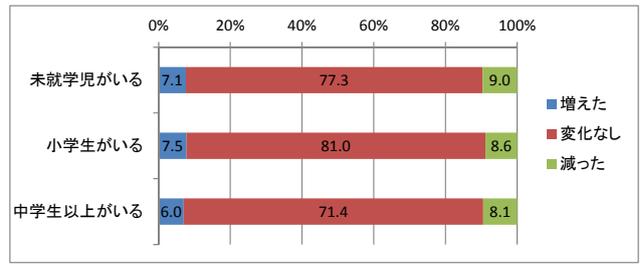
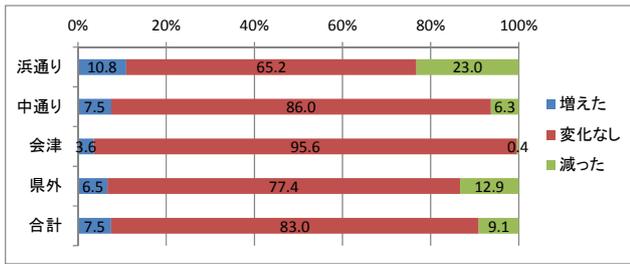
「増えた」(7.0%)。「変化なし」(84.0%)が8.5割。「減った」(8.4%)

e. 保育園・幼稚園や学校との連絡



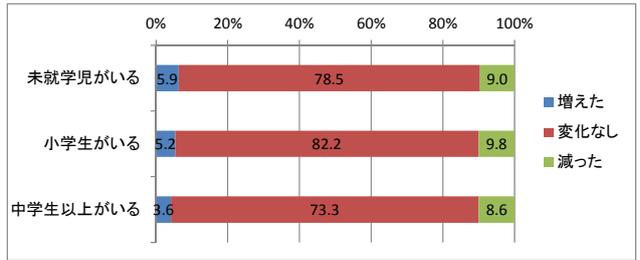
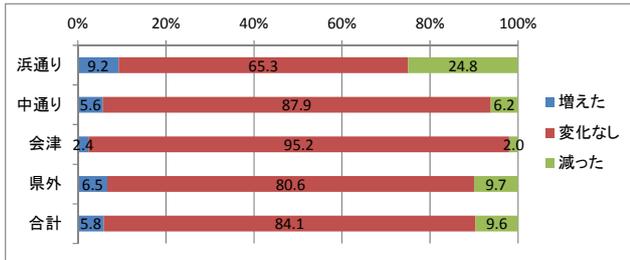
「増えた」(21.4%)。「変化なし」(75.5%)が7.5割。「減った」(2.5%)

f. 近所づきあい



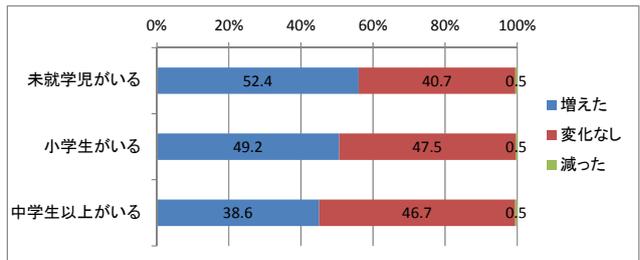
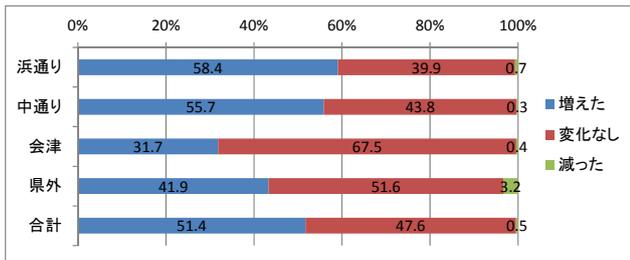
「増えた」(7.5%)。「変化なし」(83.0%)が8.5割。「減った」(9.1%)

g. 親戚づきあい



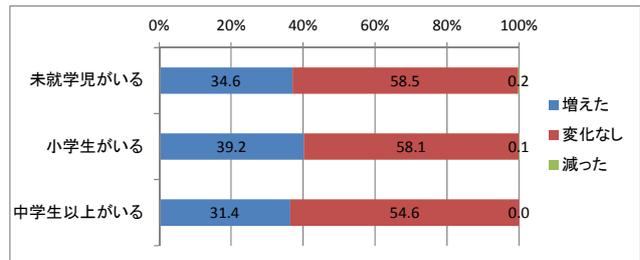
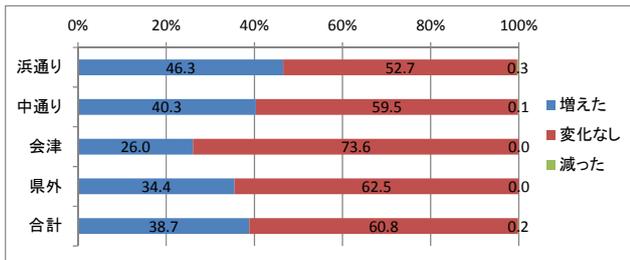
「増えた」(5.8%)。「変化なし」(84.1%)が8.5割。「減った」(9.6%)

h. 子育てに関する心配や悩み



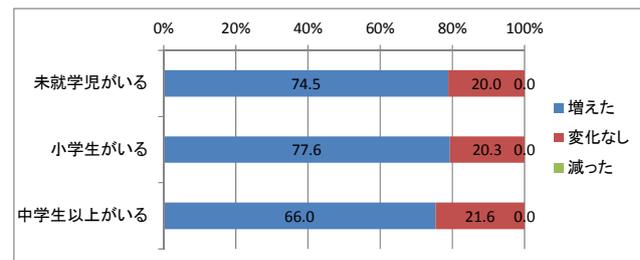
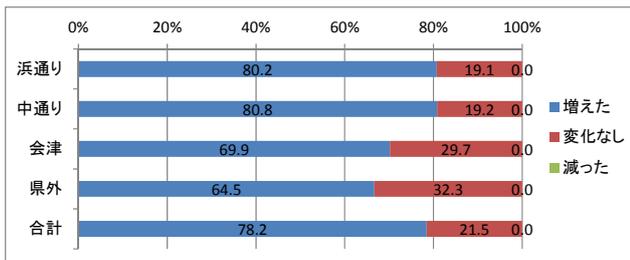
「増えた」(51.4%)が5割以上。「変化なし」(47.6%)。「減った」(0.5%)

i. 子どもに対する愛情



「増えた」(38.7%)が4割近い。「変化なし」(60.8%)。「減った」(0.2%)

j. 食の安全への配慮

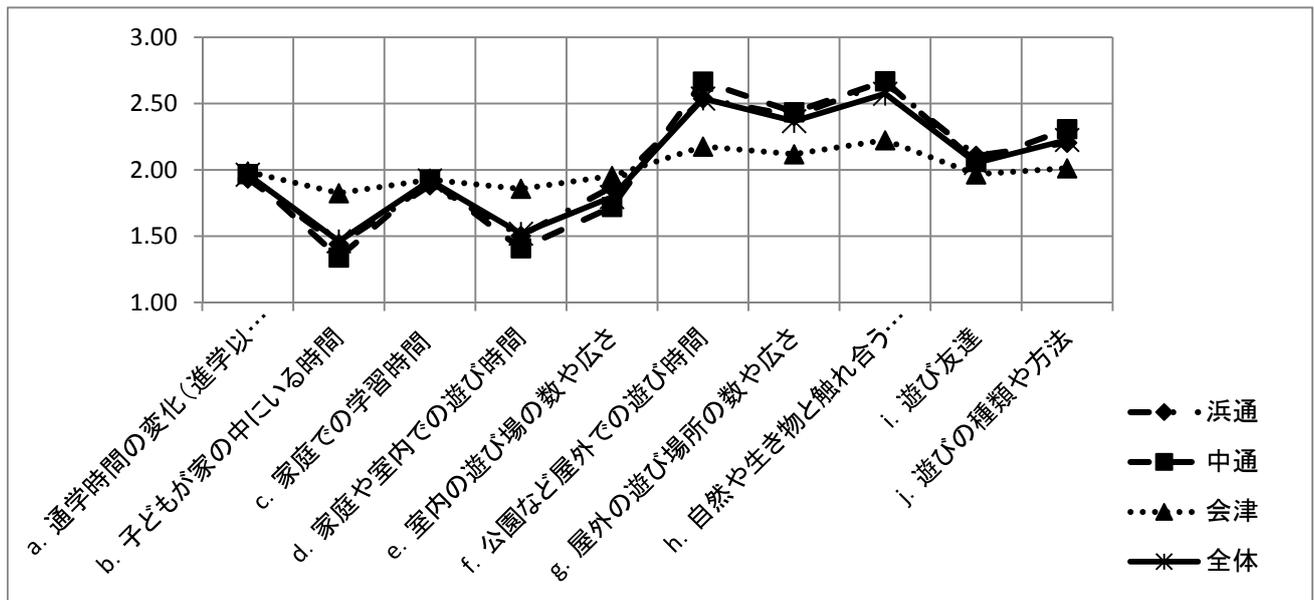


食の安全への配慮が「増えた」(78.2%)が8割近い。「変化なし」(21.5%)。「減った」(0.0%)

問39 震災の影響によって、お子さんの日常生活に変化したと思うことはありましたか。

3段階のうちのアてはまる番号を選んで○をつけてください。

お子さんが2人以上いらっしゃる場合は、小学生までの最年長のお子さんについてお答えください。



問39 震災の影響によって、お子さんの日常生活に変化したと思うこと	平均			
	浜通	中通	会津	全体
a. 通学時間の変化(進学以外の理由による)	1.94	1.97	1.99	1.97
b. 子どもが家の中にいる時間	1.44	1.34	1.83	1.46
c. 家庭での学習時間	1.88	1.93	1.93	1.92
d. 家庭や室内での遊び時間	1.50	1.41	1.86	1.52
e. 室内の遊び場の数や広さ	1.87	1.72	1.96	1.79
f. 公園など屋外での遊び時間	2.54	2.67	2.18	2.54
g. 屋外の遊び場所の数や広さ	2.41	2.44	2.12	2.37
h. 自然や生き物と触れ合う遊び	2.66	2.67	2.22	2.57
i. 遊び友達	2.11	2.06	1.97	2.05
j. 遊びの種類や方法	2.20	2.31	2.01	2.23

【震災の影響によって、子どもが家の中に留められるようになった】(問39)

回答のばらつきは少ない

地域間で比較すると、会津の変化はわずか

子どもが家の中に留められるようになった

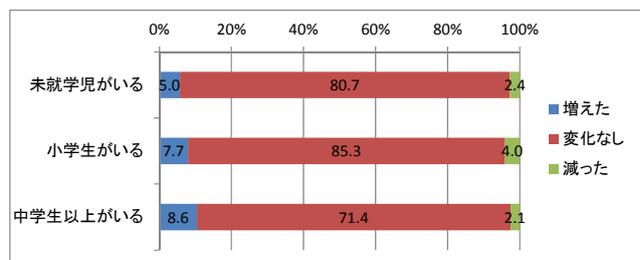
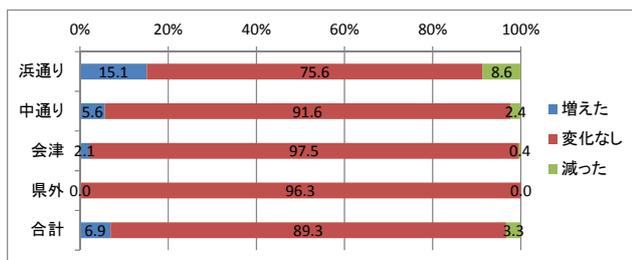
1. 家の中に居る時間、家の中で遊ぶ時間が大きく増えた。

室内の遊び場は増えた。家庭学習時間はわずかに増えた

2. 屋外で遊ぶ時間、自然や生き物と触れ合う遊びが大きく減った。

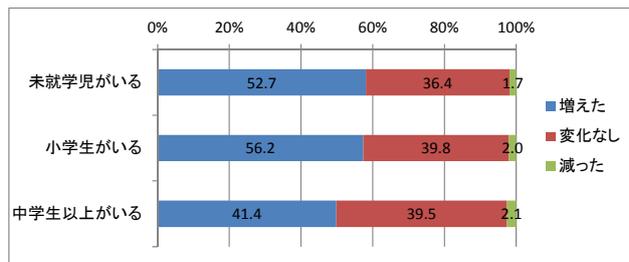
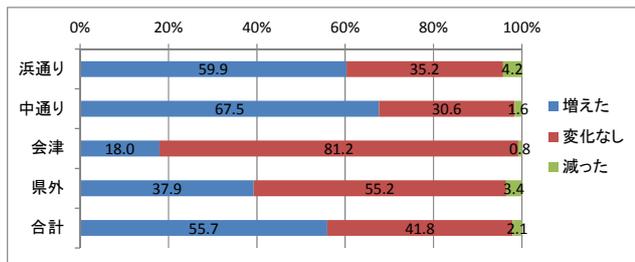
遊びの種類や方法は少し減ったが、友達はまだあまり増減していない。

a. 通学時間の変化(進学以外の理由による)



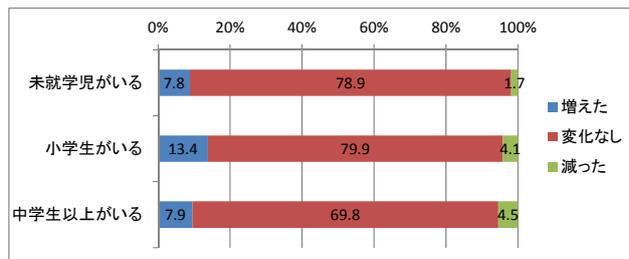
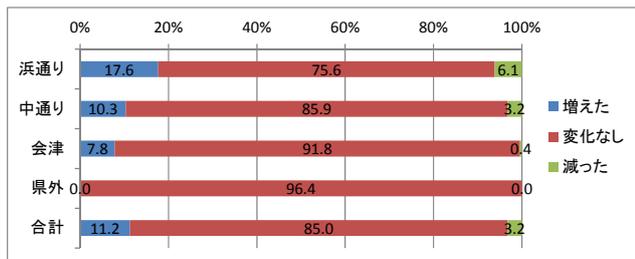
「増えた」(6.9%)。「変化なし」(89.3%)が9割。「減った」(3.3%)

b. 子どもが家の中にいる時間



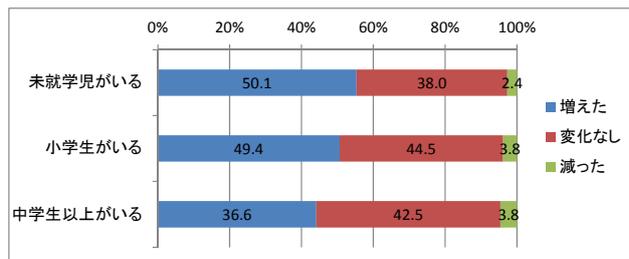
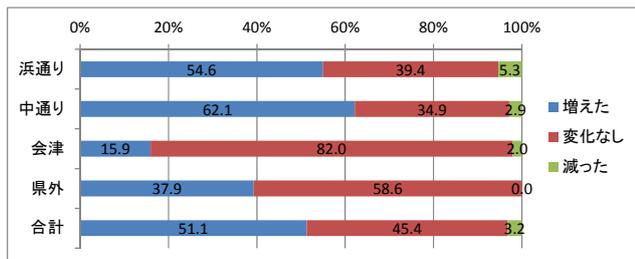
「増えた」(55.7%)が5割以上。「変化なし」(41.8%)。「減った」(2.1%)

c. 家庭での学習時間



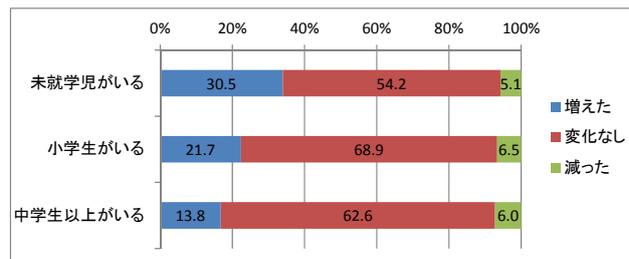
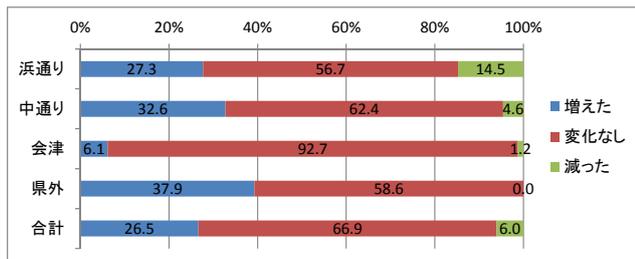
「増えた」(11.2%)。「変化なし」(85.0%)が8.5割。「減った」(3.2%)

d. 家庭や室内での遊び時間



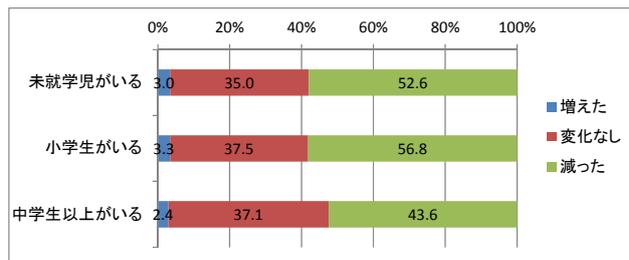
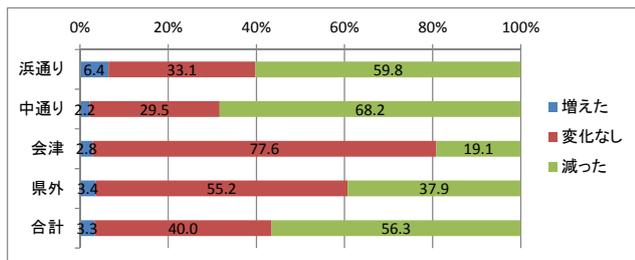
家庭や室内での遊び時間が「増えた」(51.1%)が5割。「変化なし」(45.4%)。「減った」(3.2%)

e. 室内の遊び場の数や広さ



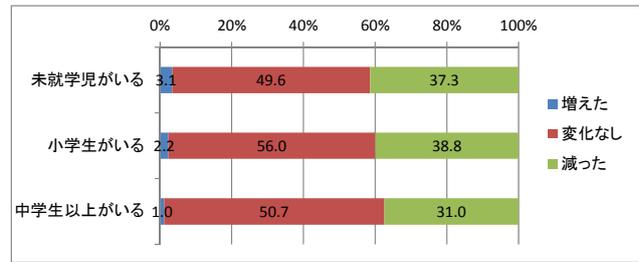
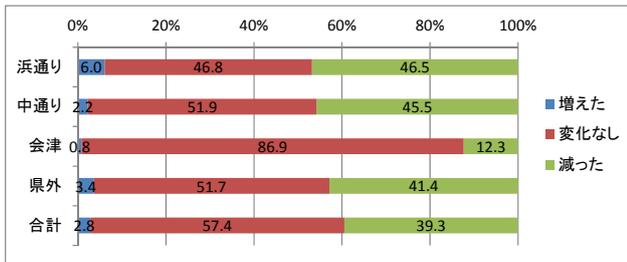
「増えた」(26.5%)が3割弱。「変化なし」(66.9%)が6.5割。「減った」(6.0%)

f. 公園など屋外での遊び時間



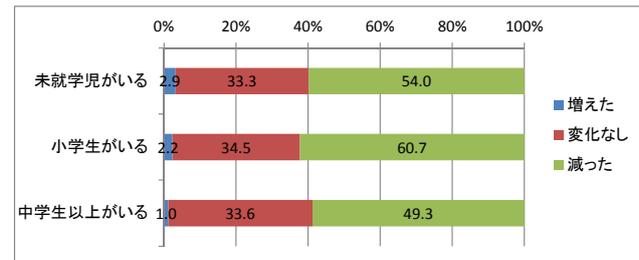
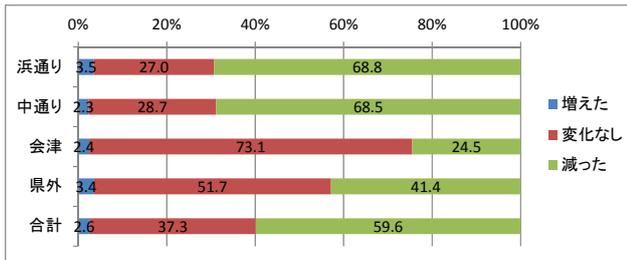
「増えた」(3.3%)。「変化なし」(40.0%)。「減った」(56.3%)が5割以上。

g. 屋外の遊び場所の数や広さ



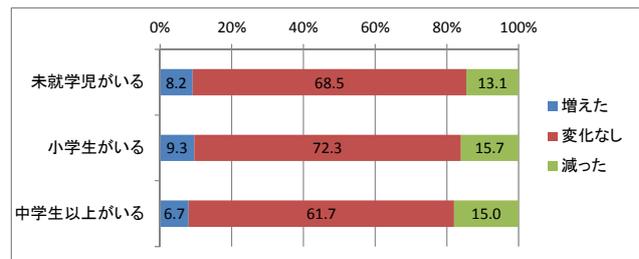
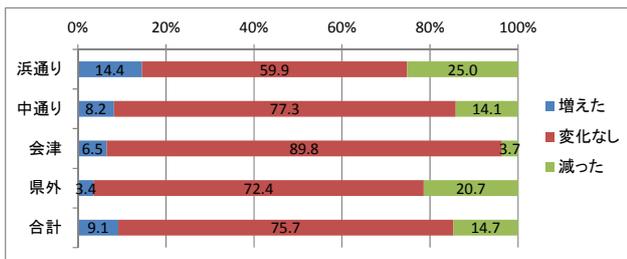
「増えた」(2.8%)。「変化なし」(57.4%)。「減った」(39.3%)が4割。

h. 自然や生き物と触れ合う遊び



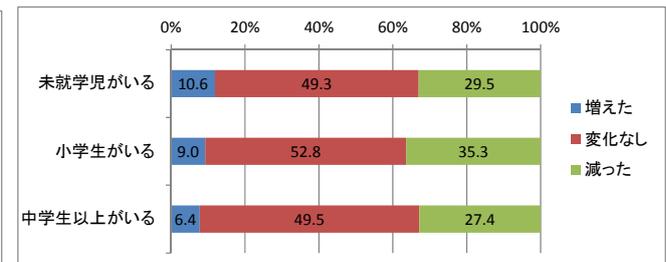
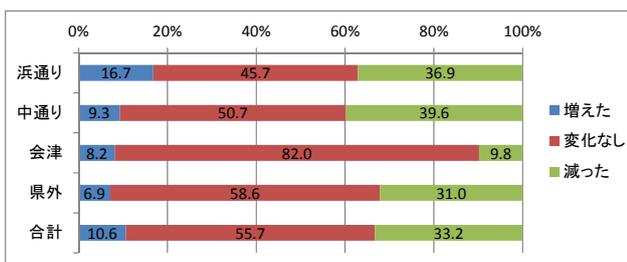
「増えた」(2.6%)。「変化なし」(37.3%)。「減った」(59.6%)が6割。

i. 遊び友達



「増えた」(9.1%)。「変化なし」(75.7%)が7.5割。「減った」(14.7%)

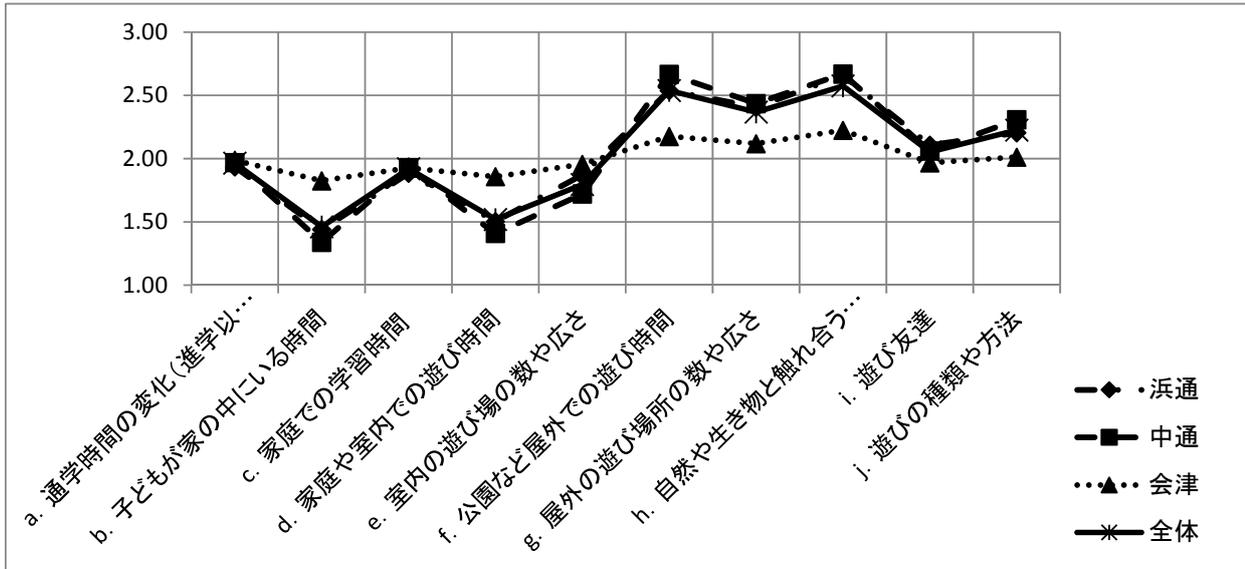
j. 遊びの種類や方法



「増えた」(10.6%)。「変化なし」(55.7%)。遊びの種類や方法が「減った」(33.2%)が3割以上。

問40 震災の影響によって、お子さんに、変化したと思うことはありましたか。

3段階のうちにあてはまる番号を選んで、○をつけてください。



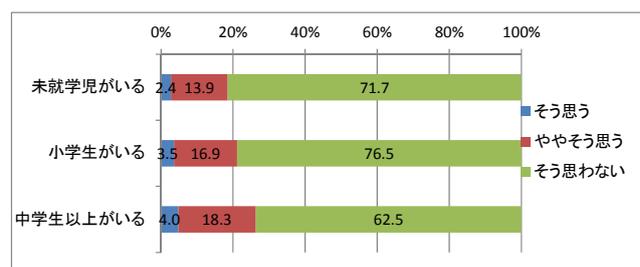
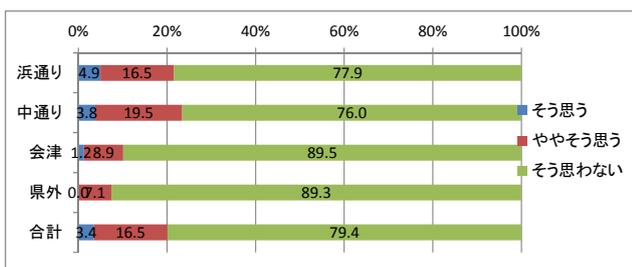
問40 震災の影響によって、お子さんに、変化したと思うこと	平均			
	浜通	中通	会津	全体
a. 元気がなくなった	2.73	2.73	2.91	2.77
b. 友人との関係が親しくなった	2.52	2.61	2.85	2.64
c. 運動量が減った	1.96	1.77	2.70	2.00
d. 自分のことは自分でできるようになった	2.35	2.51	2.76	2.52
e. 標準体重以上に、太ってきた	2.54	2.57	2.84	2.62
f. 親子での会話が增えた	2.29	2.35	2.67	2.40
g. あまり勉強をしなくなった	2.80	2.78	2.88	2.81
h. 体力が落ちてきた	2.38	2.21	2.79	2.37
i. 自分以外の人のことを気遣うようになった	2.34	2.39	2.70	2.44
j. 情緒的に不安定なことが多くなった	2.52	2.53	2.84	2.59
k. 病気がちになった	2.81	2.79	2.92	2.82

【震災の影響による変化では、運動量減少、親子の会話増、体力減少、気遣い】(問40)

地域間で比較すると、会津の変化はわずか。以下は中通り、浜通りの変化：

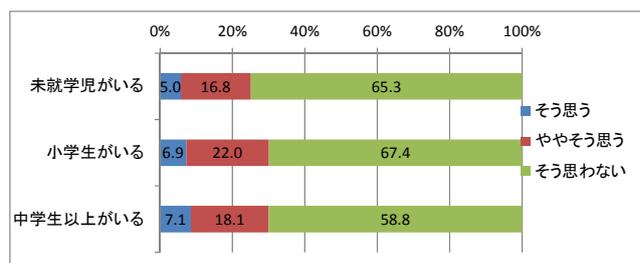
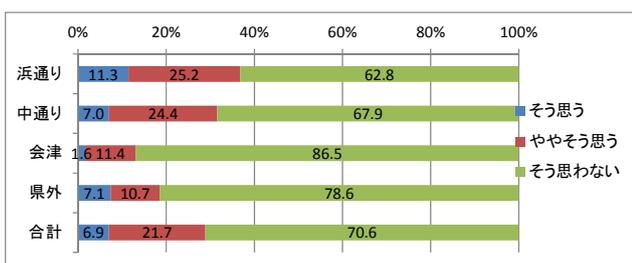
運動量が減少した。親子の会話が少し増えた。体力が少し落ちた。他者を少し気遣うようになった

a. 元気がなくなった



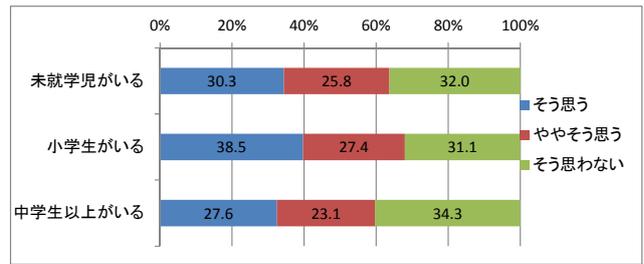
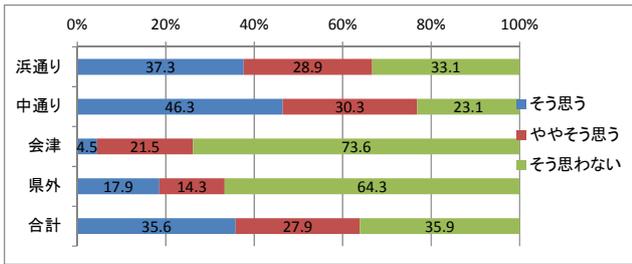
「そう思う」(3.4%)、「ややそう思う」(16.5%)、合計19.9%。「そう思わない」(79.4%)が8割。

b. 友人との関係が親しくなった



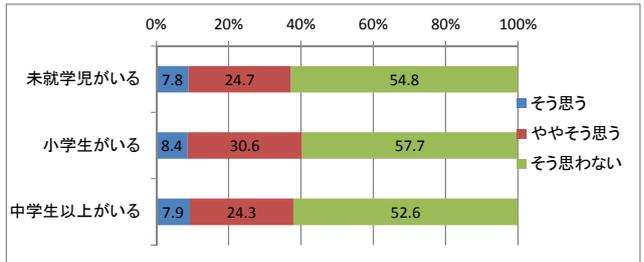
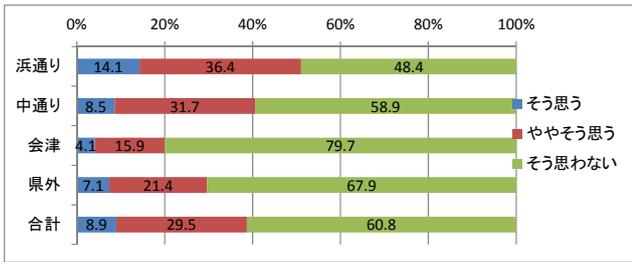
「そう思う」(6.9%)、「ややそう思う」(21.7%)、合計28.6%。「そう思わない」(70.6%)が7割。

c. 運動量が減った



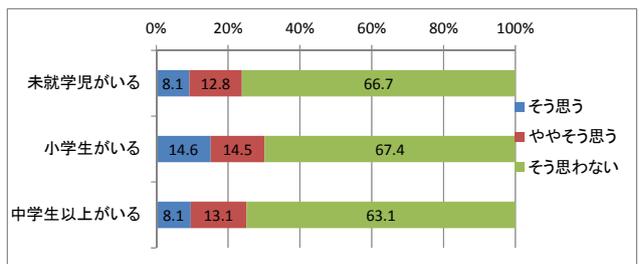
「運動量が減った」は「そう思う」(35.6%)、「ややそう思う」(27.9%)、合計 63.5%、約 6.5 割。「そう思わない」(35.9%)

d. 自分のことは自分でするようになった



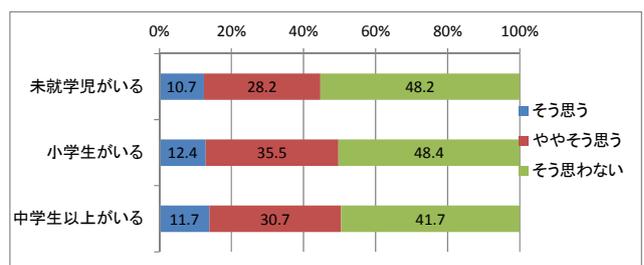
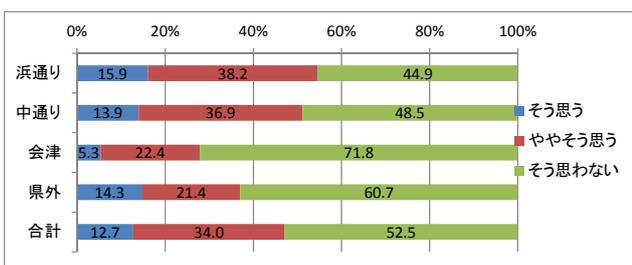
「そう思う」(8.9%)、「ややそう思う」(29.5%)、合計 39.4%。「そう思わない」(60.8%)

e. 標準体重以上に、太ってきた



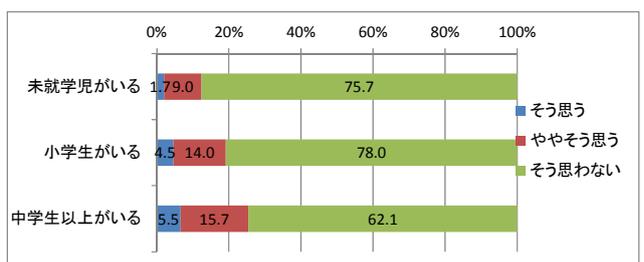
「そう思う」(11.6%)、「ややそう思う」(14.7%)、合計 26.3%。「そう思わない」(72.9%)

f. 親子での会話が増えた



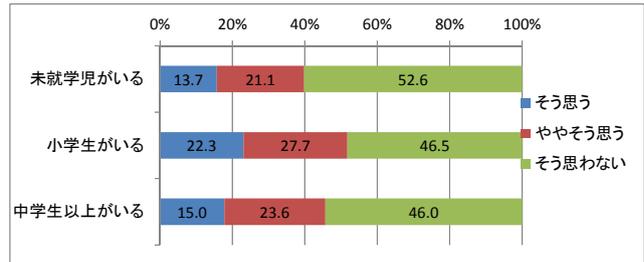
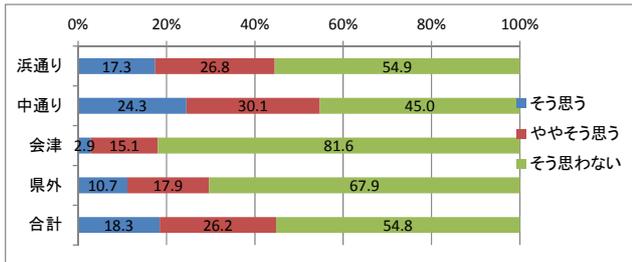
「親子での会話が増えた」は「そう思う」(12.7%)、「ややそう思う」(34.0%)、合計 46.7%。「そう思わない」(52.5%)。おおむね半々の割合。

g. あまり勉強をしなくなった



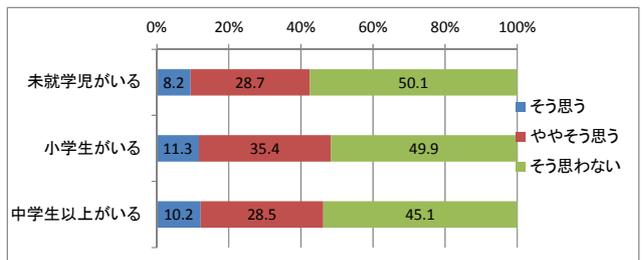
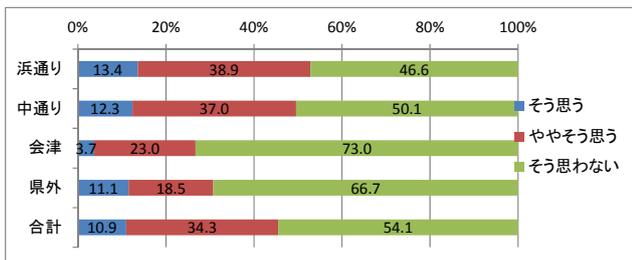
「そう思う」(3.4%)、「ややそう思う」(12.8%)、合計 16.2%。「そう思わない」(83.0%) が 8 割以上。

h. 体力が落ちてきた



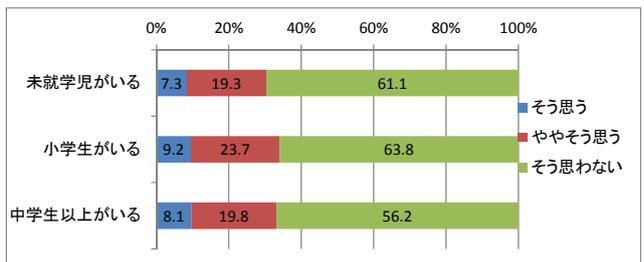
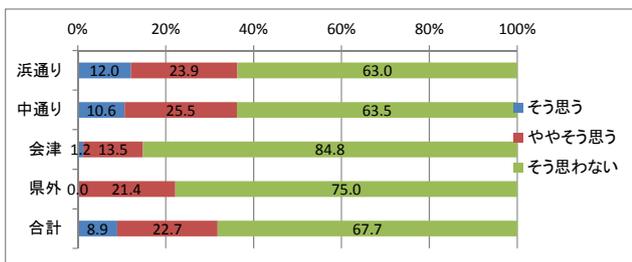
「体力が落ちてきた」は「そう思う」(18.3%)、「ややそう思う」(26.2%)、合計 44.5%。「そう思わない」(54.8%)。おおむね半々の割合。

i. 自分以外の人のことを気遣うようになった



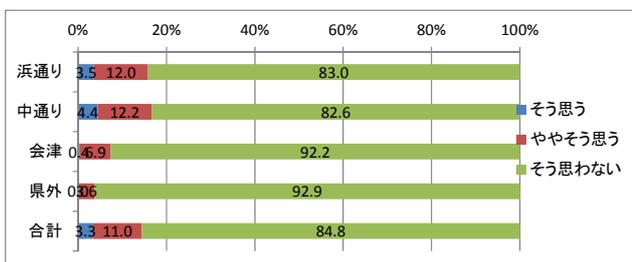
「そう思う」(10.9%)、「ややそう思う」(34.3%)、合計 45.2%。「そう思わない」(54.1%)。おおむね半々の割合。

j. 情緒的に不安定なことが多くなった



「そう思う」(8.9%)、「ややそう思う」(22.7%)、合計 31.6%、3 割強。「そう思わない」(67.7%)

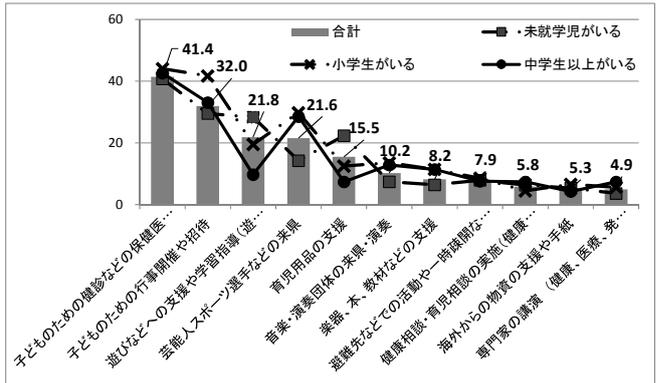
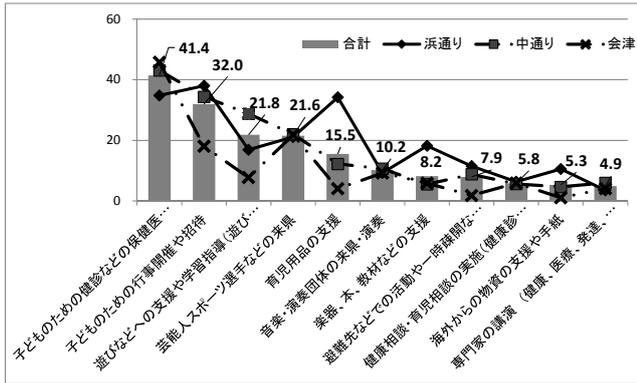
k. 病気がちになった



「そう思う」(3.3%)、「ややそう思う」(11.0%)、合計 14.3%。「そう思わない」(84.8%)、8.5 割。

問4 1 震災後に受けた子どもに対する支援などの中でうれしかったものは何ですか。

あなたが特にうれしかったものを選んで、3つまで選んで○をつけてください。



【支援でうれしかったものは保健医療サービスと子どものためのイベント】(問4 1)

震災後に受けた子どもに対する支援などの中でうれしかったものは「子どものための健診などの保健医療サービス」(41.4%)が1位、「子どものための行事開催や招待」(32.0%)が2位。

それに次ぐのは「遊びなどへの支援や学習指導(遊び場や居場所の開設など)」(21.8%)、「芸能人スポーツ選手などの来県」(21.6%)、「育児用品の支援」(15.5%)、「音楽・演奏団体の来県・演奏」(10.2%)「楽器、本、教材などの支援」(8.2%)などで2~1割程度。

「避難先などでの活動や一時疎開などの支援」(7.9%)、「健康相談・育児相談の実施(健康診断や巡回相談を含む)」(5.8%)、「海外からの物資の支援や手紙」(5.3%)、「専門家の講演(健康、医療、発達、教育、保育など)」(4.9%)などは、1割以下。

浜通りでは「子どものための行事開催や招待」「育児用品の支援」「楽器、本、教材などの支援」「海外からの物資の支援や手紙」などが他の地域よりポイントが高い。

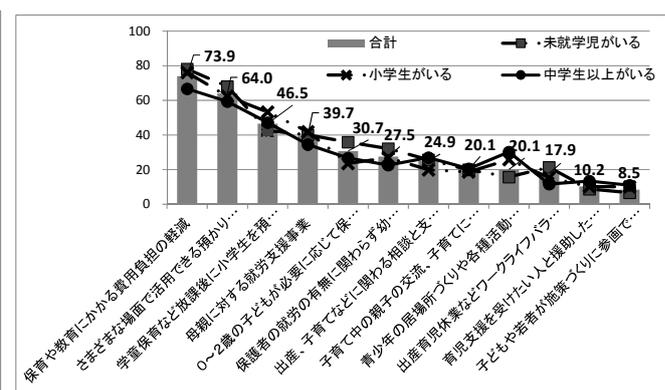
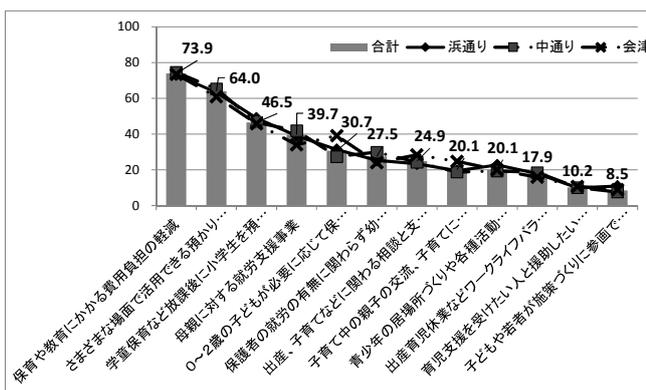
会津では「子どものための行事開催や招待」「遊びなどへの支援や学習指導(遊び場や居場所の開設など)」「育児用品の支援」「避難先などでの活動や一時疎開などの支援」「海外からの物資の支援や手紙」などが他の地域よりポイントが低い。

こうした地域差は支援を受けた内容の違いが反映していると考えられる。

順位	選抜肢	%
1	子どものための健診などの保健医療サービス	41.4
2	子どものための行事開催や招待	32.0
3	遊びなどへの支援や学習指導(遊び場や居場所の開設など)	21.8
4	芸能人スポーツ選手などの来県	21.6
5	育児用品の支援	15.5
6	音楽・演奏団体の来県・演奏	10.2
7	楽器、本、教材などの支援	8.2
8	避難先などでの活動や一時疎開などの支援	7.9
9	健康相談・育児相談の実施(健康診断や巡回相談を含む)	5.8
10	海外からの物資の支援や手紙	5.3
11	専門家の講演(健康、医療、発達、教育、保育など)	4.9

問4 2 子育て支援として、どのような施策が重要だと思われますか。

あなたが重要だと思われるものを、5つまで選んで○をつけてください



順位	選択肢	%
1	保育や教育にかかる費用負担の軽減	73.9
2	さまざまな場面で活用できる預かり事業	64.0
3	学童保育など放課後に小学生を預かる制度	46.5
4	母親に対する就労支援事業	39.7
5	0～2歳の子どもが必要に応じて保育所に入れる制度	30.7
6	保護者の就労の有無に関わらず幼児教育・保育を一体的に行う制度(認定こども園)	27.5
7	出産、子育てなどに関わる相談と支援事業	24.9
8	子育て中の親子の交流、子育てに関する相談・援助などを行う事業	20.1
9	青少年の居場所づくりや各種活動支援制度(スポーツ、文化的活動など)	20.1
10	出産育児休業などワークライフバランスに関わる施策	17.9
11	育児支援を受けたい人と援助したい人とが、相互に助け合うファミリーサポート事業	10.2
12	子どもや若者が施策づくりに参画できる制度や仕組み	8.5

【子育て支援施策で重要なのは、費用負担の軽減と預かり事業】(問4 2)

第1位「保育や教育にかかる費用負担の軽減」(73.9%)と第2位「さまざまな場面で活用できる預かり事業」(64.0%)は、7~6割の方が重要としている。

第3位は「学童保育など放課後に小学生を預かる制度」(46.5%)で5割程度。

第4位は「母親に対する就労支援事業」(39.7%)で4割程度。

「0～2歳の子どもが必要に応じて保育所に入れる制度」(30.7%)、「保護者の就労の有無に関わらず幼児教育・保育を一体的に行う制度(認定こども園)」(27.5%)は3割程度。

「出産、子育てなどに関わる相談と支援事業」(24.9%)、「子育て中の親子の交流、子育てに関する相談・援助などを行う事業」(20.1%)、「青少年の居場所づくりや各種活動支援制度(スポーツ、文化的活動など)」(20.1%)などは2割程度。

「出産育児休業などワークライフバランスに関わる施策」(17.9%)、「育児支援を受けたい人と援助したい人とが、相互に助け合うファミリーサポート事業」(10.2%)、「子どもや若者が施策づくりに参画できる制度や仕組み」(8.5%)などは下位。

2-3 調査結果のまとめ

【震災復興】

【子どもへの影響で心配なのは「放射線による健康被害」と「外遊び・自然体験の不足」】(問20)

【震災の影響による変化では、運動量減少、親子の会話増、体力減少、気遣い】(問40)

【重要な放射線対策は「長期的検査健康管理」「正確な情報」「安全な食材」「生活範囲除染」】(問21)

【支援でうれしかったものは保健医療サービスと子どものためのイベント】(問41)

【生活・時間】

【子どもの食生活に問題はないと考えている人が4割】(問25)

【子どもの食事で気になることは偏食や「ながら食べ」】(問26)

【半数以上が子どもは規則正しく睡眠をとっていると回答】(問27)

【母子保健】

【妊娠・出産時の心配は「子どもの健康」】(問24)

【8割が母子手帳は役に立っていると回答】(問28)

【子育て支援】

【できれば子育て支援活動をしたい人は5割、きっかけが必要】(問13)

【子育てで不安を感じることは教育経費、安全性、緊急時対応などに次いで遊び友達】(問30)

【子育て相談経験者は75.8%で、子どもの年齢が低いほど割合は高い】(問31)

【子育て相談の相手は身近な家族や友人が7割以上】(問32)

【子育ての相談では日常的で身近な人が求められている】(問33)

【幼稚園・保育所、学童保育】

【未就学児が通っているのは保育園と幼稚園がほぼ半数ずつ】(問34)

【保育・教育への満足度は放射線対策・情報交換や交流・緊急時備え・施設設備がやや低い】(問35)

【学童保育(放課後児童クラブ)に通っている子どもは1割強】(問36)

【学童保育の環境・活動への満足度は総じて低い】(問37)

【居住環境】

【居住環境で重視されるのは、買い物や交通の便】(問10)

【地域での子どもと大人のかかわりは「子どもに声をかける」「お祭りなどに参加」が5割】(問11)

【地域活動で子育てに重要なのは「子育て中の親のつながり」「教育施設と地域の連携」】(問12)

【子ども環境】

【遊び環境として重要なのは、「屋外遊び場」がトップだが、「自然体験」「通学路など」も】(問17)

【子ども連れで困ることは公園や遊び場とその設備の不足やバリアフリー問題】(問29)

【震災の影響によって、子育て環境が大きく変化した】(問38)

【震災の影響によって、子どもが家の中に留められるようになった】(問39)

【子どもの参画】

【「子どもの意見表明を積極的にすべき」は4割】(問14)

【「子育てしやすい福島県づくり条例」をほとんどの県民が知らない】(問15)

【「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」をほとんどの県民が知らない】(問16)

【行政施策】

【子育て支援施策で重要なのは、費用負担の軽減と預かり事業】(問42)

【医療、保健、福祉などの重要な施策は「費用軽減」「医院」「救急医療」など】(問18)

【社会環境で重要なのは「ワークライフバランス」と「安全」】(問19)